



Cisco Unity Connection インストレーション ガイド

リリース 9.x
改訂：2013 年 3 月

Text Part Number:

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Unity Connection Release 9.x インストールガイド
© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



CONTENTS

はじめに vii

対象読者および使用 vii

表記法 vii

Cisco Unity Connection のマニュアル viii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート viii

シスコ製品のセキュリティ viii

CHAPTER 1

Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするための必須タスクの概要 1-1

Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト
(Connection クラスタなし) 1-1

第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定 1-2

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定 1-5

第 3 部 : 電話システムとの連動の設定 1-5

第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力 1-5

第 5 部 : 機能用のシステムの設定 1-8

第 6 部 : ネットワーキングの設定 1-9

第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定 1-10

第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ 1-10

第 9 部 : トレーニング 1-11

Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールする
ためのタスク リスト 1-12

第 1 部 : Connection パブリッシュャ サーバのインストールと設定 1-13

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定 1-15

第 3 部 : クラスタの設定、および Connection サブスクライバ サーバのインストールと
設定 1-15

第 4 部 : 電話システムとの連動の設定 1-16

第 5 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力 1-16

第 6 部 : 機能用のシステムの設定 1-20

第 7 部 : ネットワーキングの設定 1-21

第 8 部 : ユーザ ワークステーションの設定 1-22

第 9 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ 1-22

第 10 部 : トレーニング 1-23

CHAPTER 2

オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール 2-1

バージョン 9.x のインストール シナリオ 2-2

Cisco Unity Connection 9.x サーバまたは Cisco Unity Connection 9.x クラスタへのパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール	2-3
サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (Cisco Unity Connection 9.x クラスタのみ)	2-3
Connection 9.x サーバまたは Cisco Unity Connection 9.x クラスタ内のパブリッシャ サーバインストール中のパッチの適用	2-4
サブスクリバ サーバインストール中のパッチの適用 (Cisco Unity Connection 9.x クラスタのみ)	2-4
サーバの追加と Cisco Unity Connection 9.x クラスタの作成	2-5
Cisco Unity Connection 9.x クラスタへのパブリッシャ サーバとサブスクリバ サーバの同時インストール	2-6
バージョン 9.x のインストール前のタスク	2-6
バージョン 9.x のインストールに関する重要な考慮事項	2-8
バージョン 9.x のインストールに関する FAQ	2-9
インストールにはどのくらい時間がかかりますか。	2-9
どのユーザ名およびパスワードを設定する必要がありますか。	2-9
強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。	2-10
このインストールにおいてサポートされるサーバは、どのようなサーバですか。	2-10
サーバに他のソフトウェアをインストールできますか。	2-11
バージョン 9.x のブラウザ要件	2-11
増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)	2-11
Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序の変更	2-14
9.x インストールにおける DNS 登録の確認	2-15
9.x インストールに関する情報の収集	2-15
Cisco Unified Communications Answer File Generator の使用	2-21
9.x インストール中のネットワーク エラーの処理	2-21
オペレーティング システムおよび 9.x アプリケーションの新規インストール	2-22
インストール ウィザードの操作	2-22
インストールの開始	2-23
事前準備した設定情報の入力	2-25
パッチの適用	2-26
基本インストールの実行	2-29
Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定	2-31
Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定	2-32
バージョン 9.x のインストール後のタスク	2-34
デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更	2-35
サービスのアクティブ化	2-35
ログ ファイルの監査	2-35

仮想マシンでの Cisco Unity Connection への移行 2-36

CHAPTER 3**Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール 3-1**

Connection 9.x の言語ファイルのダウンロード 3-1

Connection 9.x の言語ファイルのインストール 3-2

ディスクからの Connection 9.x の言語ファイルのインストール 3-3

ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 9.x の言語ファイルのインストール 3-4



はじめに

ここでは、次の項について説明します。

- 「対象読者および使用」 (P.vii)
- 「表記法」 (P.vii)
- 「Cisco Unity Connection のマニュアル」 (P.viii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.viii)
- 「シスコ製品のセキュリティ」 (P.viii)

対象読者および使用

『Cisco Unity Connection インストレーションガイド』は、Cisco Unity Connection システムをインストールする人を対象としています。Microsoft Exchange の E メール メッセージへのアクセスを設定したり、Exchange のカレンダーや連絡先情報へのアクセスを設定する場合は、Microsoft Exchange の実用的な知識が必要です。

表記法

表 1 『Cisco Unity Connection インストレーションガイド』の表記法

表記法	説明
太字	次の場合は太字を使用します。 <ul style="list-style-type: none">• ユーザが入力する情報。(例：[ユーザ名 (Username)] ボックスに Administrator と入力します)。
<> (山カッコ)	ユーザが値を指定するパラメータを囲むために使用します。(例：ブラウザで、 <a href="https://<Cisco Unity Connection サーバの IP アドレス>/cuadmin">https://<Cisco Unity Connection サーバの IP アドレス>/cuadmin に移動します)。
- (ハイフン)	同時に押す必要があるキーを表します。(例：Ctrl-Alt-Delete を押します)。
> (右向きの山カッコ)	メニュー上の選択項目を区切るために使用します (例：Windows の [スタート (Start)] メニューで、[設定 (Settings)]>[コントロール パネル (Control Panel)]>[電話とモデムのオプション (Phone and Modem Options)]を選択します)。

『Cisco Unity Connection インストレーション ガイド』では、次の表記法も使用します。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



警告

読者に対する警告を意味します。この場合、人身事故につながる操作を実行してしまう可能性があります。

(このガイドに記載されている安全上の警告の詳細については、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html の
 『Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco Unity Connection』を参照してください)

Cisco Unity Connection のマニュアル

Cisco.com 上の Cisco Unity Connection に関するマニュアルの説明と URL については、
 『Documentation Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x』を参照してください。このマニュアル
 は Cisco Unity Connection に同梱されており、次の URL から入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/roadmap/9xcucdg.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新
 される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂
 版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダー
 アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできま
 す。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国
 の法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、
 輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およ
 びユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関
 係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至
 急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。
http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html



CHAPTER 1

Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするための必須タスクの概要

この章は、2つのタスク リストで構成されています。Cisco Unity Connection クラスタを設定するかどうかに応じて、次の該当するタスク リストを使用します。

- 「Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト (Connection クラスタなし)」 (P.1-1)
- 「Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト」 (P.1-12)



(注)

スタンドアロン設定の Connection 9.x をインストールすると、同じシステムに ELM サーバがインストールされます。同様に、共存設定では、ELM サーバが Connection 9.x および CallManger とともに同じシステムにインストールされます。ELM サーバのユーザ名とパスワードは、Cisco Unity Connection Administration のユーザ名とパスワードと同じです。ELM サーバの詳細については、『ELM User Guide』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/elmuserguide/9_0_1/CUCM_BK_E596FD72_00_enterprise-license-manager-user-90.html) を参照してください。

Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト (Connection クラスタなし)



(注)

Connection クラスタを設定する場合は、「Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト」 (P.1-12) を参照してください。

Connection クラスタを使用せずに Cisco Unity Connection 9.x システムを正しくインストールするには、ここで挙げる概略的なタスクのリストを使用します。これらの各タスクは、『Cisco Unity Connection インストレーション ガイド』およびその他の Cisco Unity Connection マニュアルの詳細な手順を参照しています。インストールを正常に完了するには、マニュアルに従ってください。



(注)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition 6000 をインストールする過程で Connection 9.x をインストールすると、Connection 9.x のドキュメントセットの内容が、以下を除いてすべて Business Edition 6000 に適用されます。

- Connection バージョン 9.x のみを参照している内容。
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition のみを参照している内容 (この内容は、Business Edition バージョン 9.x および Business Edition 5000 バージョン 9.x のみに適用されます)。

タスク リストに従うと、Connection サーバのインストールと設定から、ユーザおよび通話管理データの Connection システムへの入力、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスなどのオプション機能の設定、Connection データのバックアップまで、Cisco Unity Connection システムのインストールを完了できます。

リストは次の 9 部に分かれています。

- 「第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定」 (P.1-2)
- 「第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定」 (P.1-5)
- 「第 3 部 : 電話システムとの連動の設定」 (P.1-5)
- 「第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力」 (P.1-5)
- 「第 5 部 : 機能用のシステムの設定」 (P.1-8)
- 「第 6 部 : ネットワーキングの設定」 (P.1-9)
- 「第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定」 (P.1-10)
- 「第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ」 (P.1-10)
- 「第 9 部 : トレーニング」 (P.1-11)

ネットワーキングを使用して複数の Connection サーバに接続している場合は、最初に第 1 部および第 3 部～第 5 部のタスクをすべてのサーバに実行し、第 6 部以降に進みます (第 2 部のタスクは 1 回のみ実行する必要があります)。

タスクの中には、特定の状況にのみ該当するものがあります。その場合には、その具体的な状況を示します。タスクがお客様の状況に該当しない場合は、スキップしてください。

第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定

1. 次の要件を確認します。
 - a. Cisco Unity Connection 9.x システムのシステム要件。『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) を参照してください。



注意

選択したサーバや選択した Connection 9.x の設定によっては、メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要になる場合があります。ご使用のサーバにメモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html) で該当するサーバの表を参照してください。

- b. 電話システムとの連動の要件。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で、該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドの「Requirements」の項を参照してください。

2. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合: インストールする追加の Connection 言語ファイルをダウンロードします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 9.x の言語ファイルのダウンロード」の項を参照してください。(このタスク リストでは、インストールの後半で言語ファイルをインストールするタイミングが通知されます)。
3. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: 『Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List』にある仮想化の仕様に関する表で、ポートの最大数やユーザの最大数に基づいて Connection サーバに展開する VMWare 構成を決定します。次に、その構成に対応する VMware OVA テンプレートを書き留めます。この資料は、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html から入手可能です。
4. 仮想マシンに Connection をインストールする場合 (オプション): タスク 3. で確認した VMware OVA テンプレートをダウンロードします。http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で、該当する『Release Notes for Cisco Unity Connection』の「Installing Cisco Unity Connection for the First Time on a Virtual Machine」の項を参照してください。
仮想化を手動で設定することもできます。その場合は、OVA テンプレートは必要ありません。



(注) VMware OVA テンプレートのダウンロードに関する情報は、バージョン 9.x の『Release Notes for Cisco Unity Connection』に記載されています。

5. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: 『System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、Connection 仮想マシンのインストール先とする物理ホストをプロビジョニングします。
6. 仮想マシンに Connection をインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードした場合: そのテンプレートを導入し、仮想マシンを作成して設定します。
仮想マシンに Connection をインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードしていない場合: Connection サーバに仮想マシンを作成し、その仮想マシンのハードウェアの各種プロパティを、『System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するように設定します。
7. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合: メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)」の項を参照してください。
8. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: VMware vSphere Client で independent-persistent モードの Connection 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これによって、最高のストレージパフォーマンスが提供されます。
9. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: VM コンソールを使用して ISO ファイルをマウントする場合、インストール プロセスの終了時にディスクがイジェクトされないことに注意してください。



ヒント

DVD ISO ファイルは必ず VMware の [設定の編集 (Edit Settings)] メニューからマウントしてください。

10. 仮想マシンに *Connection* をインストールする場合：仮想マシンの BIOS 設定で、仮想マシンの起動順序を、1 番目が DVD 仮想ディスク、2 番目が仮想ハードディスクになるように変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
11. Cisco Unity Connection サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「バージョン 9.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
12. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合：追加の Connection 言語ファイルをインストールします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 9.x の言語ファイルのインストール」の項を参照してください。
13. *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズするために日本語をインストールしている場合：Cisco Unified Communications Manager の日本語ロケールをダウンロードおよびインストールします。該当する『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。



(注)

Connection に日本語をインストールする場合は、デフォルトの日本語 cop ファイルである uc-locale-ja_JP-9.1.0.1-xx.cop.sgn をインストールします。ただし、Connection SRSV に日本語をインストールする場合は、必ず SRSV 固有の日本語 cop ファイルである uc-locale-SRSV-ja_JP-9.1.0.1-xx.cop.sgn をインストールします。

14. *Cisco Unity Connection Survivable Remote Site Voicemail (SRSV)* サーバをインストールする場合：CLI コマンド **utils cuc activate CUSRSV** を実行して、スタンドアロンの Connection サーバを Connection SRSV サーバに変換します。



(注) 無制限版の Connection SRSV は、無制限版の Cisco Unity Connection (中央) サーバでのみ機能します。



注意

上記の CLI コマンドを実行すると、手動でデータベースに追加したエント리는すべて失われます。



警告

Connection SRSV をインストールした後で Connection に戻すことはできません。

15. *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズするために追加の言語をインストールしている場合：対応する Cisco Unified Communications Manager ロケールをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定

16. 管理者のワークステーションのブラウザを Cisco Unity Connection Web アプリケーションにアクセスできるように設定します。『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html) の「[Configuring the Browser on an Administrator Workstation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
17. 管理者のワークステーションに Real-Time Monitoring Tool ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html) の「[Installing and Configuring Real-Time Monitoring Tool](#)」の章を参照してください。

第 3 部 : 電話システムとの連動の設定

18. Cisco Unity Connection と電話システムとの連動を設定します。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
19. Cisco Unity Connection に付属のすべてのソフトウェアを、安全で容易にアクセスできる場所に保管します。

第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力

第 4 部のタスクの多くは、Cisco Unity Connection Administration を使用して行います (Connection の管理 へのサイン インと使用方法の詳細については、『*System Administration Guide*』の「[Accessing and Using Cisco Unity Connection Administration in 9.x](#)」の章を参照してください)。

第 4 部のタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html)
 - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucmacx.html)
20. Connection ライセンスを入手してインストールします。『*System Administration Guide*』の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
 21. 次の Cisco Unity Connection の概念を十分に理解してください。
 - a. 通話管理。『*System Administration Guide*』の「[Call Management Overview in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. Connection カンバセーションと Custom Keypad Mapping ツール (使用する予定がある場合)。『*System Administration Guide*』の「[Cisco Unity Connection 9.x Conversation](#)」および「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. ユーザ アカウントと管理者アカウント、テンプレート、サービス クラス、およびロール。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Introduction to Cisco Unity Connection 9.x Users and Contacts](#)」および「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

22. システム計画を策定します。
- 営業時間、営業時間外、および休日を確認します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - 通話管理計画を策定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - デフォルトのパーティションとサーチ スペースを確認し、新しいパーティションとサーチ スペースが必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - デフォルトの規制テーブルを確認し、テーブルの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Overview: Default Restriction Tables](#)」を参照してください。
 - 電話と Web ツール アクセスのパスワード ポリシーとアカウント ロックアウト ポリシー、および Web ツール アクセスのサインイン ポリシーを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - 必要な管理者アカウントの数と種類、およびアカウントに割り当てるロールを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - ユーザに対して有効にする機能と、テンプレートやサービス クラスの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - デフォルトのメールボックス サイズのクォータを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - デフォルトのメッセージ エージング ポリシーを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - デフォルトのシステム同報リストを確認し、同報リストの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
23. *Custom Keypad Mapping* ツールを使用している場合: カスタム キーパッド マッピング キャンパセーションに関連付けられているキー マッピングを適宜編集します。『*System Administration Guide*』の「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
24. タスク 22. で確認した次のデフォルトについて、適宜変更または新規作成を行います。
- スケジュール。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - パーティションおよびサーチ スペース。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - 規制テーブル。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - パスワード、ロックアウト、およびサインインの各ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - サービス クラス。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

- f. ユーザ テンプレート。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a User Template in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - g. メールボックス サイズの割り当て。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - h. メッセージ エージング ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - i. システム同報リスト。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
25. システム設定をテストします。
- a. テスト アカウントとして使用する Connection ユーザ アカウントを追加します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」の章を参照してください。
 - b. 電話機を使用して Connection にテスト ユーザとしてサイン インし、名前を録音して電話パスワードを設定します。切断します。
 - c. Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパシーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
 - d. Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にテスト ユーザとしてサイン インします。テスト ユーザに必要な COS 権限を付与した場合は、Cisco PCA ホーム ページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
 - e. 必要に応じてシステム設定を修正します。
26. Connection ユーザ データを LDAP ディレクトリ内のユーザ データと同期する場合は、Connection に LDAP ディレクトリとの連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 9.x with an LDAP Directory](#)」の章を参照してください。
27. 管理者アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」または「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の章を適宜参照してください。
28. ユーザ アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』で、以下の該当の章を参照してください。
- 「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」
 - 「[Managing User Accounts in Bulk in Cisco Unity Connection 9.x](#)」
 - 「[Creating Multiple Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from Cisco Unified Communications Manager Users](#)」
 - 「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」
29. 必要に応じて、システム同報リストに個々のユーザを追加します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Managing System Distribution List Members](#)」を参照してください。
30. タスク 22.b. で策定した通話管理計画を実装し、テストします。
- a. コール ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. ディレクトリ ハンドラの設定を行います。『*System Administration Guide*』の「[Managing Directory Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

- c. インタビュー ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Interview Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
- d. コール ルーティングを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Routing Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 5 部 : 機能用のシステムの設定

第 5 部のほとんどのタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html)
 - 『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection Release 8.5 and Later*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/unified_messaging/guide/9xcucumgx.html)
 - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucemacx.html)
31. ユーザが IMAP 電子メール クライアントを使用して、*Connection* メッセージにアクセスまたは送信する場合: IMAP クライアントから *Connection* サーバへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring IMAP Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 32. ユーザが *Connection Web* ツールにアクセスできるか、または IMAP 電子メール クライアントを使用して *Connection* メッセージにアクセスまたは送信する場合: タスク 31. の一部として設定済みでない場合は、*Connection* への Cisco PCA および IMAP アクセスのセキュリティを確保します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring SSL in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Securing Cisco PCA and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection](#)」の項を参照してください。
 33. ユニファイド メッセージング機能用にユーザを設定する場合: ユニファイド メッセージングを設定します。『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection*』の該当する章を参照してください。ユニファイド メッセージング機能には以下があります。
 - テキスト/スピーチ (TTS) を使用した Exchange の電子メールへのアクセス
 - Exchange の予定表および連絡先へのアクセス
 - *Connection* メールボックスと Exchange メールボックスの同期 (単一のインボックス)
 - MeetingPlace 会議のアナウンス
 - MeetingPlace スケジュール設定および参加設定

SpeechView ユニファイド メッセージングのもう 1 つのコンポーネントである SpeechView トランスクリプションについては、後出のタスクで説明します。
 34. ユーザが予定表情報または Exchange 連絡先にアクセスできる場合: 連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating Calendar Integrations in Cisco Unity Connection 9.0.x](#)」の章を参照してください。
 35. テキスト/スピーチを使用して Exchange の電子メール メッセージにアクセスする場合: Exchange へのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Text-to-Speech Access to Exchange Emails in Cisco Unity Connection 9.0](#)」の章を参照してください。
 36. ユーザが SpeechView ボイス メッセージ トランスクリプション機能にアクセスできる場合: トランスクリプション サービスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Transcription \(SpeechView\) in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

37. ユーザが *HTML*、*SMTP*、または *SMS* メッセージ通知デバイスを使用する場合：システムが *SMTP* または *SMS* 通知メッセージを送信できるようにします。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up HTML, SMTP, and SMS \(SMPP\) Message Notifications in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
38. ユーザが *Cisco Unified* クライアント アプリケーションを使用して *Connection* ボイス メッセージにアクセスできる場合：次の該当するクライアントを設定します。
 - *Cisco Unified Personal Communicator* の場合は、『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「*Access to Voice Messages from the Cisco Unified Personal Communicator*」の項を参照してください。
 - *Cisco Unified Mobile Communicator* の場合は、『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Unified Mobility Advantage Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - *Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime* の場合は、該当する『*Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html) を参照してください。
39. ユーザがファクスにアクセスできる場合：*Cisco Fax Server* との連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Fax Server Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
40. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Connection Broadcast Message Administrator* にアクセスできる場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Broadcast Messaging in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
41. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Greetings Administrator* にアクセスして、電話によるグリーティングを管理する必要がある場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Recorded Greetings and Recorded Names in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「*Setting Up the Cisco Unity Greetings Administrator*」の項を参照してください。
42. まだ提供していない追加の機能がある場合は、必要に応じて個々のユーザ アカウントの設定をカスタマイズします。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by User Account Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 6 部：ネットワーキングの設定

43. ネットワーキングを適宜設定します。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「*Overview of Networking Concepts in Cisco Unity Connection 9.x*」の章を参照してください。

第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定

第 7 部のほとんどのタスクは、注記がある場合を除き、『*User Workstation Setup Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_setup/guide/9xcucuwsx.html) の各章を参照しています。

44. Cisco PCA へのアクセスを設定します。「[Setting Up Access to the Cisco Personal Communications Assistant in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
45. Media Master の再生デバイスと録音デバイスを設定します。「[Setting Up Playback and Recording Devices for the Media Master in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
46. ViewMail for Outlook を設定します。該当するマニュアルを参照してください。
 - Cisco ViewMail for Microsoft Outlook 8.5 以降の場合は、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html にある、該当する『*Release Notes for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』を参照してください。
 - Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook 8.0 の場合は、『*User Workstation Setup Guide*』の「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 9.x Voice Messages](#)」の章の「[Setting Up ViewMail for Outlook in Cisco Unity Connection 9.x](#)」を参照してください。
47. Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes を設定します。http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes*』を参照してください。
48. HTML ベースの電子メール通知でイメージを表示するよう電子メールクライアントを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for HTML-based Message Notification](#)」を参照してください。
49. Cisco Unity Connection Mini Web Inbox へのアクセスを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for Cisco Unity Connection Mini Web Inbox](#)」を参照してください。
50. Connection ボイス メッセージにアクセスするために IMAP 電子メール アカウントを設定します。「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 9.x Voice Messages](#)」の章を参照してください。
51. ユーザが使用可能になっている Connection 機能にアクセスできるとともに使用できることを確認します。

第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ

52. 『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/drs_administration/guide/9xcucdrsag.html) を参照してください。



(注) サードパーティ製のバックアップ アプリケーションはサポートされていません。

第 9 部 : トレーニング

53. Cisco Unity Connection システムを使用できるように、ユーザ、オペレータ、およびサポート デスク担当者をトレーニングします。『*User Workstation User Setup Guide*』の「[User Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Operator and Support Desk Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト



(注) Connection クラスタを設定しない場合は、「Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト (Connection クラスタなし) (P.1-1)」を参照してください。

Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムを正しくインストールするには、この項の概略的なタスクのリストを使用します。各タスクは、『Cisco Unity Connection インストールガイド』およびその他の Cisco Unity Connection のマニュアルの詳細な手順を参照しています。インストールを正常に完了するには、マニュアルに従ってください。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition 6000 をインストールする過程で Connection 9.x 以降をインストールすると、Connection 8.x のドキュメント セットの内容が、以下を除いてすべて Business Edition 6000 に適用されます。

- Connection バージョン 9.x のみを参照している内容。
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition のみを参照している内容 (この内容は、Business Edition バージョン 9.x および Business Edition 5000 バージョン 9.x のみに適用されません)。

タスク リストに従うと、Connection サーバのインストールと設定から、ユーザおよび通話管理データの Connection システムへの入力、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスなどのオプション機能の設定、Connection データのバックアップまで、Cisco Unity Connection システムのインストールを完了できます。パブリッシャ サーバに入力した情報や設定は、サブスクリバ サーバにレプリケートされます。



(注) Cisco Unity Connection SRSV をクラスタにインストールすることはできないので、ブランチは、クラスタを持たない Connection にのみ作成できます。

リストは次の 10 部に分かれています。

- 「第 1 部 : Connection パブリッシャ サーバのインストールと設定」 (P.1-13)
- 「第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定」 (P.1-15)
- 「第 3 部 : クラスタの設定、および Connection サブスクリバ サーバのインストールと設定」 (P.1-15)
- 「第 4 部 : 電話システムとの連動の設定」 (P.1-16)
- 「第 5 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力」 (P.1-16)
- 「第 6 部 : 機能用のシステムの設定」 (P.1-20)
- 「第 7 部 : ネットワーキングの設定」 (P.1-21)
- 「第 8 部 : ユーザ ワークステーションの設定」 (P.1-22)
- 「第 9 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ」 (P.1-22)
- 「第 10 部 : トレーニング」 (P.1-23)

ネットワーキングを使用してネットワークへの複数の Connection クラスタに接続している場合は、最初にクラスタを設定して、次にネットワークを設定します。最初のクラスタには、第 1 部～第 6 部のタスクを実行します。2 つめ以降のクラスタには、第 1 部と第 3 部～第 6 部のタスクを実行します。リストの第 7 部以降に進みます。

タスクの中には、特定の状況にのみ該当するものがあります。その場合には、その具体的な状況を示します。タスクがお客様の状況に該当しない場合は、スキップしてください。

第 1 部 : Connection パブリッシャ サーバのインストールと設定

1. 次の要件を確認します。

- a. Cisco Unity Connection 9.x システムのシステム要件。『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) を参照してください。



注意

選択したサーバや選択した Connection 9.x の設定によっては、メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要になる場合があります。ご使用のサーバにメモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html) で該当するサーバの表を参照してください。

- b. 電話システムとの連動の要件。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で、該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドの「Requirements」の項を参照してください。

2. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合: インストールする追加の Connection 言語ファイルをダウンロードします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 9.x の言語ファイルのダウンロード」の項を参照してください。(このタスク リストでは、インストールの後半で言語ファイルをインストールするタイミングが通知されます)。

3. 仮想マシンに Connection パブリッシャ サーバまたはサブスクリバサーバをインストールする場合: 『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』 の仮想化の仕様の表を使用し、ポートの最大数やユーザの最大人数に基づいて、仮想マシンに展開する VMware 設定を決定します。次に、その構成に対応する VMware OVA テンプレートを書き留めます。この資料は、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html から入手可能です。



注意

パブリッシャ サーバとサブスクリバサーバの両方を仮想マシンにインストールする場合、両方のサーバに同じ VMware 設定を使用する必要があります。

4. 仮想マシンに Connection パブリッシャ サーバまたはサブスクリバサーバをインストールする場合 (オプション): タスク 3. で決定した VMware OVA テンプレートをダウンロードします。該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html) の「Installing Cisco Unity Connection for the First Time on a Virtual Machine」の項を参照してください。

仮想化を手動で設定することもできます。その場合は、OVA テンプレートは必要ありません。



(注) VMware OVA テンプレートのダウンロードに関する情報は、バージョン 9.x の『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』に記載されています。

5. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合:『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、*Connection* パブリッシャ仮想マシンのインストール先とする物理ホストをプロビジョニングします。
6. *Connection* 仮想マシンにパブリッシャ サーバをインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードした場合: そのテンプレートを導入し、仮想マシンを作成して設定します。
仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードしていない場合: *Connection* パブリッシャ サーバに仮想マシンを作成し、仮想マシンのハードウェア プロパティを設定して、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するようにします。
7. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合: メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 9.x* のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)」の項を参照してください。
8. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合: *VMware vSphere Client* で independent-persistent モードの *Connection* 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これによって、最高のストレージパフォーマンスが提供されます。
9. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合: 仮想マシンの BIOS 設定で、仮想マシンの起動順序を、1 番目が DVD 仮想ディスク、2 番目が仮想ハードディスクになるように変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 9.x* のインストール」の章の「*Cisco Unity Connection 9.x* 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
10. *Connection* パブリッシャ サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 9.x* のインストール」の章の「バージョン 9.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
11. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合: 追加の *Connection* 言語ファイルをパブリッシャ サーバにインストールします。このマニュアルの「*Cisco Unity Connection 9.x* サーバへの追加言語のインストール」の章の「*Connection 9.x* の言語ファイルのインストール」の項を参照してください。
12. 日本語をインストールして *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズする場合: *Cisco Unified Communications Manager* の日本語ロケールをパブリッシャ サーバにダウンロードし、インストールします。該当する『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。
13. 追加の言語をインストールして *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズする場合: 対応する *Cisco Unified Communications Manager* ロケールをパブリッシャ サーバにダウンロードし、インストールします。『*Cisco Unified Communications Operating System*

Administration Guide』

(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定

14. 管理者のワークステーションのブラウザを Cisco Unity Connection Web アプリケーションにアクセスできるように設定します。『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html) の「Configuring the Browser on an Administrator Workstation in Cisco Unity Connection 9.x」の章を参照してください。
15. 管理者のワークステーションに Real-Time Monitoring Tool ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide*』(http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html) の「Installing and Configuring Real-Time Monitoring Tool」の章を参照してください。

第 3 部 : クラスタの設定、および Connection サブスクライバ サーバのインストールと設定

16. Cisco Unity Connection クラスタを設定します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/cluster_administration/guide/9xcuccagx.html) の「Configuring a Cisco Unity Connection 9.x Cluster」の章を参照してください。
17. 仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールする場合: 『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、Connection サブスクライバ仮想マシンのインストール先とする物理ホストをプロビジョニングします。
18. 仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードした場合: そのテンプレートを導入し、仮想マシンを作成して設定します。
仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードしていない場合: サブスクライバ サーバに仮想マシンを作成し、仮想マシンのハードウェア プロパティを設定して、『System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するようにします。
19. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合: メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)」の項を参照してください。
20. 仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールする場合: VMware vSphere Client で independent-persistent モードの Connection 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これによって、最高のストレージ パフォーマンスが提供されます。

21. 仮想マシンに *Connection* サブスクリバ サーバをインストールする場合：仮想マシンの BIOS 設定で、仮想マシンの起動順序を、1 番目が DVD 仮想ディスク、2 番目が仮想ハードディスクになるように変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
22. *Connection* サブスクリバ サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「バージョン 9.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
23. 英語（米国）以外の言語を使用している場合：サブスクリバ サーバに、タスク 11. でインストールしたものと同一 *Connection* 言語ファイルをインストールします。
24. 日本語をインストールして *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズする場合：サブスクリバ サーバにタスク 12. でインストールした Cisco Unified Communications Manager の日本語ロケールをインストールします。
25. 追加の言語をインストールして *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズする場合：サブスクリバ サーバにタスク 13. でインストールしたものと同一 Cisco Unified Communications Manager のロケールをインストールします。



(注) これ以降、パブリッシャ サーバに入力した情報や設定は、サブスクリバ サーバにレプリケートされます。

第 4 部：電話システムとの連動の設定

26. パブリッシャ サーバに、Cisco Unity Connection と電話システムとの連動を設定します。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
27. Cisco Unity Connection に付属のすべてのソフトウェアを、安全で容易にアクセスできる場所に保管します。

第 5 部：ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力

第 5 部のタスクの多くは、Cisco Unity Connection Administration を使用して行います（Connection の管理 へのサイン インと使用方法の詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Accessing and Using Cisco Unity Connection Administration in 9.x](#)」の章を参照してください）。

第 5 部のタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsx.html)
- 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucmacx.html)
- 『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/cluster_administration/guide/9xcucagx.html)

28. Connection ライセンスを入手してインストールします。ライセンスは、パブリッシャ サーバとサブスクリバ サーバにインストールする必要があります。『*System Administration Guide*』の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
29. 次の Cisco Unity Connection の概念を十分に理解してください。
 - a. 通話管理。『*System Administration Guide*』の「[Call Management Overview in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. Connection カンバセーションと Custom Keypad Mapping ツール（使用する予定がある場合）。『*System Administration Guide*』の「[Cisco Unity Connection 9.x Conversation](#)」および「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. ユーザアカウントと管理者アカウント、テンプレート、サービスクラス、およびロール。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Introduction to Cisco Unity Connection 9.x Users and Contacts](#)」および「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 9.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
30. システム計画を策定します。
 - a. 営業時間、営業時間外、および休日を確認します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. 通話管理計画を策定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. デフォルトのパーティションとサーチ スペースを確認し、新しいパーティションとサーチ スペースが必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - d. デフォルトの規制テーブルを確認し、テーブルの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Overview: Default Restriction Tables](#)」を参照してください。
 - e. 電話と Web ツールアクセスのパスワードポリシーとアカウントロックアウトポリシー、および Web ツールアクセスのサインインポリシーを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - f. 必要な管理者アカウントの数と種類、およびアカウントに割り当てるロールを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 9.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
 - g. ユーザに対して有効にする機能と、テンプレートやサービスクラスの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 9.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
 - h. デフォルトのメールボックス サイズのクォータを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - i. デフォルトのメッセージ エージング ポリシーを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - j. デフォルトのシステム同報リストを確認し、同報リストの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

31. Custom Keypad Mapping ツールを使用している場合：パブリッシャ サーバで、カスタム キーパッド マッピング カンパセーションに関連付けられているキー マッピングを適宜編集します。
『*System Administration Guide*』の「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
32. タスク 30. で確認した次のデフォルトについて、パブリッシャ サーバで適宜変更または新規作成を行います。
 - a. スケジュール。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. パーティションおよびサーチ スペース。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. 規制テーブル。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - d. パスワード、ロックアウト、およびサインインの各ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - e. サービス クラス。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - f. ユーザ テンプレート。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a User Template in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - g. メールボックス サイズの割り当て。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - h. メッセージ エージング ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - i. システム同報リスト。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
33. システム設定をテストします。
 - a. パブリッシャ サーバで [クラス管理 (Cluster Management)] ページの Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスし、パブリッシャ サーバが [プライマリ (Primary)] ステータス、サブスクリバ サーバが [セカンダリ (Secondary)] ステータスであることを確認します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章を参照してください。
 - b. パブリッシャ サーバで、テスト アカウントとして使用する Connection ユーザ アカウントを追加します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection Accounts Individually](#)」の章を参照してください。
 - c. 電話機を使用して Connection にテスト ユーザとしてサイン インし、名前を録音して電話パスワードを設定します。切断します。
 - d. Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパセーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
 - e. Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にテスト ユーザとしてサイン インします。テスト ユーザに必要な COS 権限を付与した場合は、Cisco PCA ホーム ページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
 - f. 必要に応じてシステム設定を修正します。

- g. サブスクリバ サーバで、テスト ユーザと録音された名前がレプリケートされていることを確認します。
 - h. [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスし、サブスクリバ サーバのステータスを [プライマリ (Primary)] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
 - i. パブリッシャ サーバのステータス (現在 [セカンダリ (Secondary)] ステータスに設定されている) を [無効化 (Deactivated)] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
 - j. Cisco Unity Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、サブスクリバ サーバが [プライマリ (Primary)] ステータスの際に通話が正しく接続されることを確認します。パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパセーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
 - k. Cisco PCA にテスト ユーザとしてサイン インします。Cisco PCA ホーム ページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
 - l. 必要に応じてシステム設定を修正します。
 - m. [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの Cisco Unity Connection Serviceability で、パブリッシャ サーバをアクティブにします。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
 - n. パブリッシャ サーバのステータスを [プライマリ (Primary)] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
34. Connection ユーザ データを LDAP ディレクトリ内のユーザ データと同期する場合は、パブリッシャ サーバで Connection に LDAP ディレクトリとの連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 9.x with an LDAP Directory](#)」の章を参照してください。
35. パブリッシャ サーバで管理者アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」または「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の章を適宜参照してください。
36. パブリッシャ サーバでユーザ アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』で、以下の該当の章を参照してください。
- 「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」
 - 「[Managing Cisco Unity Connection 9.x User Accounts in Bulk](#)」
 - 「[Creating Multiple Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from Cisco Unified Communications Manager Users](#)」
 - 「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」
37. パブリッシャ サーバで、必要に応じて個々のユーザをシステム同報リストに追加します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Managing System Distribution List Members](#)」を参照してください。

38. パブリッシャ サーバで、タスク 30.b. で策定した通話管理計画を実装し、テストします。
- a. コール ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. ディレクトリ ハンドラの設定を行います。『*System Administration Guide*』の「[Managing Directory Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. インタビュー ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Interview Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - d. コール ルーティングを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Routing Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 6 部：機能用のシステムの設定

Cisco Unity Connection システムで実行した第 6 部のタスクについて、パブリッシャ サーバで情報や設定を入力します。

ほとんどのタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html)
 - 『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection Release 8.5 and Later*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/unified_messaging/guide/85xcumgx.html)
 - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucmacx.html)
39. ユーザが IMAP 電子メール クライアントを使用して、*Connection* メッセージにアクセスまたは送信する場合：IMAP クライアントから *Connection* サーバへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring IMAP Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
40. ユーザが *Connection Web* ツールにアクセスできるか、または IMAP 電子メール クライアントを使用して *Connection* メッセージにアクセスまたは送信する場合：タスク 39. の一部として設定済みでない場合は、*Connection* への Cisco PCA および IMAP アクセスのセキュリティを確保します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring SSL in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Securing Cisco PCA and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection](#)」の項を参照してください。
41. ユニファイド メッセージング機能用にユーザを設定する場合：ユニファイド メッセージングを設定します。『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection*』の該当する章を参照してください。ユニファイド メッセージング機能には以下があります。
- テキスト/スピーチ (TTS) を使用した Exchange の電子メールへのアクセス
 - Exchange の予定表および連絡先へのアクセス
 - *Connection* メールボックスと Exchange メールボックスの同期 (単一のインボックス)
 - MeetingPlace 会議のアナウンス
 - MeetingPlace スケジュール設定および参加設定
- SpeechView ユニファイド メッセージングのもう 1 つのコンポーネントである SpeechView トランスクリプションについては、後出のタスクで説明します。

42. ユーザが予定表情報または Exchange 連絡先にアクセスできる場合：連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating Calendar Integrations with Cisco Unity Connection 8.0](#)」の章を参照してください。
43. テキスト/スピーチを使用して Exchange の電子メール メッセージにアクセスする場合：Exchange へのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Text-to-Speech Access to Exchange Emails in Cisco Unity Connection 8.0](#)」の章を参照してください。
44. ユーザが SpeechView ボイス メッセージ トランスクリプション機能にアクセスできる場合：トランスクリプション サービスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Transcription \(SpeechView\) in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
45. ユーザが SMTP または SMS メッセージ通知デバイスを使用する場合：システムが SMTP または SMS 通知メッセージを送信できるようにします。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up SMTP and SMS \(SMPP\) Message Notifications in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
46. ユーザが Cisco Unified クライアント アプリケーションを使用して Connection ボイス メッセージにアクセスできる場合：次の該当するクライアントを設定します。
 - Cisco Unified Personal Communicator の場合は、『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Access to Voice Messages from the Cisco Unified Personal Communicator](#)」の項を参照してください。
 - Cisco Unified Mobile Communicator の場合は、『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Unified Mobility Advantage Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime の場合は、該当する『*Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime*』（http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html）を参照してください。
47. ユーザがファクスにアクセスできる場合：Cisco Fax Server との連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Fax Server Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
48. 管理者またはユーザが Cisco Unity Connection Broadcast Message Administrator にアクセスできる場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Broadcast Messaging in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
49. 管理者またはユーザが Cisco Unity Greetings Administrator にアクセスして、電話によるグリーティングを管理する必要がある場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Recorded Greetings and Recorded Names in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Setting Up the Cisco Unity Greetings Administrator](#)」の項を参照してください。
50. まだ提供していない追加の機能がある場合は、必要に応じて個々のユーザ アカウントの設定をカスタマイズします。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by User Account Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 7 部：ネットワーキングの設定

51. パブリッシャ サーバにネットワーキングを適宜設定します。複数の Connection クラスタに接続している場合は、すべてのパブリッシャ サーバにネットワーキングを設定します。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「Overview of Networking Concepts in Cisco Unity Connection 9.x」の章を参照してください。

第 8 部 : ユーザ ワークステーションの設定

第 8 部のほとんどのタスクは、注記がある場合を除き、『*User Workstation Setup Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_setup/guide/9xcucuwsx.html) の各章を参照しています。

52. Cisco PCA へのアクセスを設定します。「[Setting Up Access to the Cisco Personal Communications Assistant in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
53. Media Master の再生デバイスと録音デバイスを設定します。「[Setting Up Playback and Recording Devices for the Media Master in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
54. ViewMail for Outlook を設定します。該当するマニュアルを参照してください。
 - Cisco ViewMail for Microsoft Outlook 8.5 以降の場合は、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html にある、該当する『*Release Notes for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』を参照してください。
 - Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook 8.0 の場合は、『*User Workstation Setup Guide*』の「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 8.x Voice Messages](#)」の章の「Setting Up ViewMail for Outlook in Cisco Unity Connection 8.x」を参照してください。
55. Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes を設定します。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes*』を参照してください。
56. HTML ベースの電子メール通知でイメージを表示するよう電子メール クライアントを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for HTML-based Message Notification](#)」を参照してください。
57. Cisco Unity Connection Mini Web Inbox へのアクセスを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for Cisco Unity Connection Mini Web Inbox](#)」を参照してください。
58. Connection ボイス メッセージにアクセスするために IMAP 電子メール アカウントを設定します。「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 9.x Voice Messages](#)」の章を参照してください。
59. ユーザが使用可能になっている Connection 機能にアクセスできるとともに使用できることを確認します。

第 9 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ

60. パブリッシャ サーバでバックアップを実行します。『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/drs_administration/guide/9xcucdrsag.html) を参照してください。



(注) サードパーティ製のバックアップ アプリケーションはサポートされていません。

第 10 部 : トレーニング

61. Cisco Unity Connection システムを使用できるように、ユーザ、オペレータ、およびサポート デスク担当者をトレーニングします。『*User Workstation User Setup Guide*』の「[User Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Operator and Support Desk Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

■ Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト



CHAPTER 2

オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- 「バージョン 9.x のインストール シナリオ」 (P.2-2)
 - 「Cisco Unity Connection 9.x サーバまたは Cisco Unity Connection 9.x クラスタへのパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール」 (P.2-3)
 - 「サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (Cisco Unity Connection 9.x クラスタのみ)」 (P.2-3)
 - 「Connection 9.x サーバまたは Cisco Unity Connection 9.x クラスタ内のパブリッシャ サーバ インストール中のパッチの適用」 (P.2-4)
 - 「サブスクリバ サーバ インストール中のパッチの適用 (Cisco Unity Connection 9.x クラスタのみ)」 (P.2-4)
 - 「サーバの追加と Cisco Unity Connection 9.x クラスタの作成」 (P.2-5)
 - 「Cisco Unity Connection 9.x クラスタへのパブリッシャ サーバとサブスクリバ サーバの同時インストール」 (P.2-6)
- 「バージョン 9.x のインストール前のタスク」 (P.2-6)
- 「バージョン 9.x のインストールに関する重要な考慮事項」 (P.2-8)
- 「バージョン 9.x のインストールに関する FAQ」 (P.2-9)
 - 「インストールにはどのくらい時間がかかりますか。」 (P.2-9)
 - 「どのユーザ名およびパスワードを設定する必要がありますか。」 (P.2-9)
 - 「強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。」 (P.2-10)
 - 「このインストールにおいてサポートされるサーバは、どのようなサーバですか。」 (P.2-10)
 - 「サーバに他のソフトウェアをインストールできますか。」 (P.2-11)
- 「バージョン 9.x のブラウザ要件」 (P.2-11)
- 「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)」 (P.2-11)
- 「Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序の変更」 (P.2-14)
- 「9.x インストールにおける DNS 登録の確認」 (P.2-15)
- 「9.x インストールに関する情報の収集」 (P.2-15)
- 「Cisco Unified Communications Answer File Generator の使用」 (P.2-21)
- 「9.x インストール中のネットワーク エラーの処理」 (P.2-21)

- 「オペレーティング システムおよび 9.x アプリケーションの新規インストール」 (P.2-22)
 - 「インストール ウィザードの操作」 (P.2-22)
 - 「インストールの開始」 (P.2-23)
 - 「事前準備した設定情報の入力」 (P.2-25)
 - 「パッチの適用」 (P.2-26)
 - 「基本インストールの実行」 (P.2-29)
 - 「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」 (P.2-31)
 - 「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定」 (P.2-32)
- 「バージョン 9.x のインストール後のタスク」 (P.2-34)
 - 「デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更」 (P.2-35)
 - 「サービスのアクティブ化」 (P.2-35)
 - 「ログ ファイルの監査」 (P.2-35)
- 「仮想マシンでの Cisco Unity Connection への移行」 (P.2-36)

バージョン 9.x のインストール シナリオ

このマニュアルは、次のようなさまざまなインストール シナリオを実行する際に使用できます。

- サーバにソフトウェアをインストールします。Connection クラスタにおいて、最初のサーバ (パブリッシャ サーバ) にソフトウェアをインストールします。
- Connection クラスタにおいて、2 番目のサーバ (サブスクリバ サーバ) にソフトウェアをインストールします。
- サーバへのソフトウェアのインストール中にパッチを適用します。Connection クラスタにおいて、最初のサーバ (パブリッシャ サーバ) のインストール中にパッチをインストールします。
- Connection クラスタにおいて、2 番目のサーバ (サブスクリバ サーバ) へのソフトウェアのインストール中にパッチを適用します。
- サーバを作成して Connection クラスタに追加します。

次の各項では、これらのインストール シナリオにおいてそれぞれ実行する必要があるタスクの概略を示します。また、各タスクの概略と共に本マニュアルの別の項へのリンクを記載しています。このリンクから各タスクの詳細情報を参照できます。



(注)

サーバまたはクラスタの置換の詳細については、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html) の「Replacing Cisco Unity Connection 9.x Servers or Hard Disks」の章を参照してください。

Cisco Unity Connection 9.x サーバまたは Cisco Unity Connection 9.x クラスタへのパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール

Cisco Unity Connection サーバにソフトウェアをインストールする場合や、Connection クラスタ設定時に最初のサーバ（パブリッシャ サーバ）にソフトウェアをインストールする場合は、表 2-1 の手順に従います。

表 2-1 Connection サーバまたはパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール

	タスク	詳細情報
ステップ1	現在のサイトに必要なインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前の作業のリストについては、表 2-6 (P.2-7) を参照してください。
ステップ2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-23) を参照してください。
ステップ3	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ4	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] ウィンドウが表示されたら [はい (Yes)] を選択し、単独の Connection サーバとして、または Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバとして、新しいサーバを設定します。	「基本インストールの実行」(P.2-29) のステップ 10 を参照してください。
ステップ5	手順に従って、サーバを設定します。	「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」(P.2-31) を参照してください。
ステップ6	現在のサイトに必要なインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後の作業のリストについては、表 2-8 (P.2-34) を参照してください。

サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (Cisco Unity Connection 9.x クラスタのみ)

Cisco Unity Connection クラスタ設定時にクラスタ内の 2 番目のサーバ（サブスクリバ サーバ）にソフトウェアをインストールする場合は、表 2-2 の手順に従います。

表 2-2 サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール

	タスク	詳細情報
ステップ1	現在のサイトに必要なインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前の作業のリストについては、表 2-6 を参照してください。
ステップ2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-23) を参照してください。
ステップ3	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ4	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] が表示されたら [いいえ (No)] を選択し、Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバとして、新しいサーバを設定します。	「基本インストールの実行」(P.2-29) のステップ 10 を参照してください。

表 2-2 サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (続き)

	タスク	詳細情報
ステップ 5	手順に従って、クラスタ内のサブスクリバ サーバを設定します。	「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定」(P.2-32) を参照してください。
ステップ 6	現在のサイトに必要なインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後の作業のリストについては、表 2-8 を参照してください。

Connection 9.x サーバまたは Cisco Unity Connection 9.x クラスタ内のパブリッシャ サーバインストール中のパッチの適用

インストール中にパッチをダウンロードして適用し、新しいリリースにアップグレードできます。Connection サーバのインストール中、または Connection クラスタ内の最初のサーバ (パブリッシャ サーバ) のインストール中にパッチを適用する場合は、表 2-3 の手順に従います。

表 2-3 Connection サーバまたはパブリッシャ サーバインストール中のパッチの適用

	タスク	詳細情報
ステップ 1	現在のサイトに必要なインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前の作業のリストについては、表 2-6 を参照してください。
ステップ 2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-23) を参照してください。
ステップ 3	手順に従って、ソフトウェア パッチを適用します。	「パッチの適用」(P.2-26) を参照してください。
ステップ 4	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 5	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] ウィンドウが表示されたら [はい (Yes)] を選択し、単独の Connection サーバとして、または Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバとして、新しいサーバを設定します。	「基本インストールの実行」(P.2-29) のステップ 10 を参照してください。
ステップ 6	手順に従って、クラスタ内のパブリッシャ サーバを設定します。	「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」(P.2-31) を参照してください。
ステップ 7	現在のサイトに必要なインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後の作業のリストについては、表 2-8 を参照してください。

サブスクリバ サーバインストール中のパッチの適用 (Cisco Unity Connection 9.x クラスタのみ)

インストール中にパッチをダウンロードして適用し、新しいリリースにアップグレードできます。Cisco Unity Connection クラスタ内の 2 番目のサーバ (サブスクリバ サーバ) のインストール中にパッチを適用する場合は、表 2-4 の手順に従います。

表 2-4 サブスクリバ サーバ インストール中のパッチの適用

	タスク	詳細情報
ステップ1	現在のサイトに必要なインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前の作業のリストについては、表 2-6 を参照してください。
ステップ2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-23) を参照してください。
ステップ3	手順に従って、ソフトウェア パッチを適用します。	「パッチの適用」(P.2-26) を参照してください。
ステップ4	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ5	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] が表示されたら [いいえ (No)] を選択し、Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバとして、新しいサーバを設定します。	「基本インストールの実行」(P.2-29) のステップ 10 を参照してください。
ステップ6	手順に従って、クラスタ内のサブスクリバ サーバを設定します。	「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定」(P.2-32) を参照してください。
ステップ7	現在のサイトに必要なインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後の作業のリストについては、表 2-8 を参照してください。

サーバの追加と Cisco Unity Connection 9.x クラスタの作成

サーバを追加して Connection クラスタを作成する場合は、表 2-5 の手順に従います。

表 2-5 サーバの追加と Cisco Unity Connection クラスタの作成

	タスク	詳細情報
ステップ1	Connection システムを変更する前に、最新のバックアップ ファイルがあることを確認します。	詳細については、『 <i>Disaster Recovery System Administration Guide</i> 』を参照してください。
ステップ2	現在のサイトに必要なインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前の作業のリストについては、表 2-6 を参照してください。
ステップ3	サブスクリバ サーバの追加をサポートする Cisco Unity Connection クラスタ ライセンスを入手します。	詳細については、次の場所にある『 <i>System Administration Guide for Cisco Unity Connection</i> 』の「Managing Licenses in Cisco Unity Connection 9.x」の章を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html
ステップ4	サブスクリバ サーバをインストールする前に、パブリック サーバで Connection クラスタを設定したことを確認します。	詳細については、次の場所にある『 <i>Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection</i> 』の「Configuring a Cisco Unity Connection 9.x Cluster」の章を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/cluster_administration/guide/9xcuccagx.html
ステップ5	インストールする各サーバの設定内容を記録します。	設定内容の記録については、表 2-6 (P.2-16) を参照してください。

表 2-5 サーバの追加と Cisco Unity Connection クラスタの作成 (続き)

タスク	詳細情報	
ステップ 6	パブリッシャ サーバとサブスライバ サーバには、同じバージョンのソフトウェアをインストールしてください。正しいバージョンが DVD がない場合は、Cisco.com から更新ソフトウェアをダウンロードするか、インストール処理中にパッチを適用する手順に従う必要があります。	
ステップ 7	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-23) を参照してください。
ステップ 8	DVD にある Cisco Unity Connection のバージョンのアップグレードが必要な場合は、ソフトウェア パッチの適用手順に進みます。	「パッチの適用」(P.2-26) を参照してください。
ステップ 9	手順に従って、基本インストールを実行します。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 10	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] が表示されたら [いいえ (No)] を選択し、サブスライバ サーバとして新しいサーバを設定します。	「基本インストールの実行」(P.2-29) のステップ 10 を参照してください。
ステップ 11	サブスライバ サーバの設定手順に従います。	「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスライバ サーバの設定」(P.2-32) を参照してください。
ステップ 12	現在のサイトに必要なインストール後のタスクをすべて実行します。	表 2-8 (P.2-34) を参照してください。

Cisco Unity Connection 9.x クラスタへのパブリッシャ サーバとサブスライバ サーバの同時インストール

Connection クラスタをインストールする際、パブリッシャ サーバとサブスライバ サーバのインストールを同時に開始できます。インストール プログラムにおいて最初のサーバ (パブリッシャ サーバ) を最初のノードとして指定するよう求められたら、パブリッシャ サーバへのインストールが完了するまでサブスライバ サーバへのインストールを停止します。その後、パブリッシャ サーバで Connection クラスタを設定してから、サブスライバ サーバへのインストールを再開できます。最適なパフォーマンスを得るには、インストール プログラムにおいて、[続行 (Proceed)] オプションではなく、[スキップ (Skip)] オプションを選択する必要があります。

バージョン 9.x のインストール前のタスク

表 2-6 に、Cisco Unity Connection 正しくインストールするために必要なインストール前のタスクのリストを示します。

表 2-6 インストール前のタスク


	タスク	特記事項
ステップ1	このマニュアルをすべて読み、インストール手順をよく理解します。	
ステップ2	製造元が提供するユーティリティを実行し、新しいサーバのハードウェア（ハードドライブ、メモリなど）の整合性を確認します。	
ステップ3	サポートされるハードウェアの一覧にサーバが記載されており、クラスタの負荷をサポートするための適切な容量がサーバにあることを確認します。	サーバ モデルの容量の詳細については、『 Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List 』（ http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html ）を参照してください。 当初のシステム設定以降の規模拡張も考慮してください。
ステップ4	Connection クラスタにおいて NTP サーバからシステム時刻を取得している場合は、サブスクリバ サーバをインストールする前に、パブリッシャ サーバが NTP サーバと同期できるか確認します。 パブリッシャ サーバの NTP ステータスを確認するには、パブリッシャ サーバでコマンドライン インターフェイスにログインして次のコマンドを入力します。 utils ntp status	詳細については、『 Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions 』を参照してください。  注意 パブリッシャ サーバが NTP サーバとの同期に失敗する場合、サブスクリバ サーバのインストールも失敗する可能性があります。
ステップ5	Connection クラスタにおいて、パブリッシャ サーバとサブスクリバ サーバの間でネットワーク アドレス変換 (NAT) またはポート アドレス変換 (PAT) を実行しないでください。	
ステップ6	新しいサーバを接続するネットワーク インターフェイス カード (NIC) の速度とスイッチ ポートの二重化設定を記録します。 NIC 設定は、サーバとスイッチ ポートで同じ設定にする必要があります。GigE (1000/FULL) の場合、NIC およびスイッチ ポートの設定を Auto/Auto に設定する必要があります。固定値を設定しないでください。	シスコ サーバに接続されているスイッチ ポートでは、すべて PortFast を有効にしてください。 PortFast を有効にすることで転送遅延（スパニング ツリー プロトコル (STP) の学習状態およびリッスン状態から転送状態に変化するまで、ポートが待機する時間）が短縮され、スイッチによりポートはブロック状態から転送状態にすばやく切り替えられます。
ステップ7	DNS を使用する場合、Cisco Unity Connection インストールを予定しているすべてのサーバが、DNS で適切に登録されていることを確認します。	詳細については、『 9.x インストールにおける DNS 登録の確認 』（P.2-15）を参照してください。
ステップ8	Cisco Unity Connection ライセンス ファイルを取得します。	詳細については、次の場所にある『 System Administration Guide for Cisco Unity Connection 』の「 Managing Licenses in Cisco Unity Connection 9.x 」の章を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html

表 2-6 インストール前のタスク (続き)

	タスク	特記事項
ステップ 9	インストールを予定している各サーバの設定内容を記録します。	設定内容の記録については、表 2-6 を参照してください。
ステップ 10	2 番目のサーバ (サブスクリバ サーバ) をインストールする前に、パブリッシャ サーバで Connection クラスタを設定します。	詳細については、次の場所にある『 <i>Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection</i> 』の「 Configuring a Cisco Unity Connection 9.x Cluster 」の章を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/cluster_administration/guide/9xcuccagx.html

バージョン 9.x のインストールに関する重要な考慮事項

インストールを進める前に、以下の要件および推奨事項について検討してください。

- 既存のサーバにインストールする場合は、ハード ドライブがフォーマットされ、ドライブ上の既存データがすべて上書きされることに注意してください。
- バックアップ電源を供給しシステムを保護するため、各 Cisco Unity Connection サーバを無停電電源 (UPS) に接続するようにしてください。UPS に接続していない場合、場合によっては物理メディアが損傷し、インストールし直す必要があります。
- Connection クラスタにおいては、以下に従ってください。
 - Cisco Unity Connection ソフトウェアは、最初にパブリッシャ サーバにインストールし、次にサブスクリバ サーバにインストールしてください。
 - パブリッシャ サーバでセキュリティ パスワードを入力する際、パスワードを書き留めて保管しておいてください。サブスクリバ サーバで同じパスワードを入力する必要があります。
 - クラスタに両方のサーバをインストールした後、サブスクリバ サーバがパブリッシャ サーバに接続できることを確認してください。
 - 中断による影響を抑えるため、ソフトウェアのインストールはオフピーク時またはメンテナンス時に行ってください。
 - クラスタ内の両方のサーバでは、同じリリースの Cisco Unity Connection を実行する必要があります。ただし、クラスタ ソフトウェアをアップグレードする際に限り、処理のため一時的に不一致の状態にできます。
- サーバが固定された IP アドレスを取得するには、スタティック IP アドレスを使用してサーバを設定します。
- インストール中は、設定タスクを行わないでください。
- シスコで検証済みのアプリケーションのインストールは、インストールが完了するまで行わないでください。
- インストール プログラム実行中に入力するディレクトリ名およびファイル名は、大文字と小文字が区別されるので注意してください。
- 160 GB SATA ディスク ドライブ搭載のサーバ モデル 7825 I3 でのディスク ミラーリングには、約 3 時間かかります。
- 250 GB SATA ディスク ドライブ搭載のサーバ モデル 7828 I3 でのディスク ミラーリングには、約 4 時間かかります。
- インストールを進める前に、説明をよく読んでください。

- USB ドライブを挿入または取り外したときに、コンソールに「sdb: ドライブ キャッシュはライトスルーでの動作を仮定 (sdb: assuming drive cache: write through)」のようなエラー メッセージが表示されることがあります。これらのメッセージは無視しても差し支えありません。

バージョン 9.x のインストールに関する FAQ

この項では、よく寄せられる質問とそれに対する回答を記載します。この項は、インストールを開始する前によく確認してください。

インストールにはどのくらい時間がかかりますか。

サーバのタイプに応じて、インストール プロセス全体で 45 ～ 90 分かかります（インストール前後のタスクは除く）。

どのユーザ名およびパスワードを設定する必要がありますか。



(注)

システムはパスワードの強固さをチェックします。強固なパスワードの作成に関するガイドラインについては、「[強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。](#)」(P.2-10) を参照してください。

インストール中に指定しなければならないユーザ名およびパスワードは、次のとおりです。

- 管理者アカウントのユーザ名とパスワード
- アプリケーション ユーザ名およびパスワード
- セキュリティ パスワード

管理者アカウントのユーザ名とパスワード

管理者アカウントのユーザ名およびパスワードは、以下にログインする際に使用します。

- Cisco Unified Communications Operating System Administration
- ディザスタ リカバリ システム
- コマンドライン インターフェイス

管理者アカウントのユーザ名およびパスワードを指定する際は、次のガイドラインに従ってください。

- 管理者アカウントのユーザ名：先頭を英文字にする必要があります。英数字、ハイフン、下線を使用できます。
- 管理者アカウント パスワード：6 文字以上の長さであることが必要です。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。

コマンドライン インターフェイスを使用して、管理者アカウント パスワードを変更したり、新しい管理者アカウントを追加したりできます。詳細については、『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions*』を参照してください。

アプリケーション ユーザ名およびパスワード

アプリケーション ユーザ名およびパスワードは、システムにインストールされている以下のようなアプリケーションにアクセスする際に使用します。

- Cisco Unity Connection Administration

- Cisco Unified Serviceability
- Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool

アプリケーション ユーザ名およびパスワードを指定する際は、次のガイドラインに従ってください。

- アプリケーション ユーザ名：アルファベットで始まる名前である必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。
- アプリケーション ユーザ パスワード：6 文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。

コマンドライン インターフェイスを使用して、アプリケーション ユーザ名およびパスワードを変更できます。詳細については、『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions*』を参照してください。

セキュリティ パスワード

クラスタリングが設定されている場合、システムはこのパスワードを使用して、パブリック サーバおよびサブスクライバ サーバ間の通信を認証します。パスワードは、両方のサーバで同一にする必要があります。

セキュリティ パスワードは 6 文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。

強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。

インストール ウィザードは、入力されたパスワードの強固さをチェックします。強固なパスワードを作成するには、次の推奨事項に従ってください。

- 大文字と小文字を併用します。
- 文字と数字を併用します。
- ハイフンと下線を含めます。
- 長いパスワードほど強固であり、短いパスワードよりも安全であることに留意してください。

以下のようなパスワードは避けてください。

- 固有名詞や辞書に載っている単語など、意味を持つ単語は使用しないでください。また、これらと数字を組み合わせて使用することも避けてください。
- 意味を持つ単語を逆向きに読んだ語句も使用しないでください。
- aaabbb、qwerty、zyxwvuts、123321 など、一定のパターンの語句や数字は使用しないでください。
- 他の言語において意味を持つ単語は使用しないでください。
- 誕生日、郵便番号、子供やペットの名前など、個人情報は使用しないでください。

このインストールにおいてサポートされるサーバは、どのようなサーバですか。

サポートされるサーバの詳細については、『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html) を参照してください。

サーバに他のソフトウェアをインストールできますか。

ソフトウェアのインストールおよびアップグレードは、すべて Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して行う必要があります。システムがアップロードおよび処理できるのは、シスコが承認したソフトウェアのみです。承認されていないサードパーティー製または Windows ベースのソフトウェア アプリケーションはインストールまたは使用できません。

バージョン 9.x のブラウザ要件

Cisco Unified Serviceability、Cisco Unified Communications Operating System Administration、およびディザスタリカバリ システムへは、以下のブラウザを使用してアクセスできます。

- Microsoft Internet Explorer 6.x または 7.x
- Netscape Navigator 7.1 以降

Cisco Unity Connection Administration および Cisco Unity Connection Serviceability アクセス用の最新のブラウザ要件については、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Software Requirements—Administrator Workstations」の項を参照してください。

増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換（一部の 9.x サーバのみ）



(注)

メモリ増設やハードディスク交換の必要がないサーバを設置する場合は、次の項に進んでください。

既存の Cisco Unity Connection システムをバージョン 9.x にアップグレードする場合で、ユーザーデータや音声メッセージを保持したい場合は、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html) の該当する章を参照してください。

Cisco Unity Connection との使用が認められているサーバの一部では、以下の操作が必要です。

- 設定内の Connection 7.x を実行するためのメモリ増設。
- 音声認識とデジタル ネットワーキングの両方が設定されている場合に、指定した数の Connection ユーザをサポートするためのメモリ増設。
- Connection クラスタをサポートするためのハードディスク交換。

『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html) で該当するサーバに適用される表を参照してください。



警告

オン/オフのスイッチがあるシステムでは、電源をオフにし電源コードを抜いてから作業を行ってください。ステートメント 1



警告

電話網電圧への接触を防ぐため、シャーシを開ける前には電話網ケーブルを抜いてください。ステートメント 2



警告

本装置の設置および保守は、必ず AS/NZS 3260 Clause 1.2.14.3 Service Personnel に定められているサービス担当者が行ってください。ステートメント 88



警告

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。ステートメント 94



警告

保護カバーは製品の重要な一部です。保護カバーを取り付けていない状態で装置を操作しないでください。カバーを所定の位置に取り付けていない状態での装置の操作は、安全規格に不適合になります。火災または感電事故が発生する危険性があります。ステートメント 117



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001



警告

インストレーション手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



警告

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置のメンテナンス作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、装置が安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数のユニットを設置する場合は、最も重いユニットを一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。ステートメント 1006



警告

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。ステートメント 1015



警告

この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入りが制限された場所とは、特殊な工具、錠と鍵、またはその他のセキュリティ手段を使用しないと入れない場所を意味します。ステートメント 1017



警告

感電を防ぐため、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が、WAN ポートには TNV 回路が組み込まれています。一部の LAN ポートおよび WAN ポートでは、共に RJ-45 コネクタが使用されています。ケーブルを接続する際は、注意してください。ステートメント 1021



警告

火災の危険性を抑えるため、必ず 26 AWG 以上の太さの電話線コードを使用してください。ステートメント 1023



警告

この装置は必ずアースを接続する必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024



警告

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3 つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への電磁干渉 (EMI) の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。ステートメント 1029



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040

(上記の安全上の警告の各国語版については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html) を参照してください)

増設メモリの取り付けおよびハードディスクの交換手順 (一部のサーバのみ)

ステップ 1 カバーを取り外します。

ステップ 2 メモリの増設を行わない場合は、[ステップ 3](#) に進んでください。

メモリ モジュールを適切なスロットまたは場所に取り付けます。取り付け場所は、サーバ モデルによって異なります。該当する『*Cisco Unity Connection Supported Platforms List*』を参照してください。



注意

新しいメモリ モジュールを誤ったスロットに取り付けると、取り付けられたモジュールをサーバおよびオペレーティング システムが認識できず、Cisco Unity Connection のパフォーマンスが低下することがあります。

ステップ 3 ハードディスクの交換を行わない場合は、[ステップ 4](#) に進んでください。

**注意**

既存のハードディスクを取り外し、取り外したハードディスクと同数のハードディスクを取り付ける必要があります。数が異なると、Cisco Unity Connection のインストールが失敗します。

次の手順に従って、ハードディスクを交換します。

- a. サーバに設置されているハードディスクの現在の場所（ハードディスクとハードディスク スロットの対応関係を含む）を書き留めます。交換が失敗して現在の構成に戻す場合に、既存のハードディスクをそれぞれの現在の位置に戻す必要があります。
- b. サーバからドライブトレイを取り外します。
- c. ドライブトレイから古いハードディスクを取り外します。
- d. ドライブトレイに新しいハードディスクを取り付けます。
- e. ドライブトレイを、手順 a. で記録した場所に取り付けなおします。

ステップ 4 カバーを取り付けなおします。

Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序の変更

次の手順を実行して BIOS 設定を変更し、仮想マシンが最初に DVD 仮想デバイスから起動し、次に仮想ハードディスクから起動するようにします。

Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序を変更するには

- ステップ 1** VMware vSphere Client で、OVA テンプレートを展開した仮想マシンの電源をオフにします。
- ステップ 2** vSphere Client の左側のペインで仮想マシンの名前を右クリックし、[設定の編集 (Edit Settings)] を選択します。
- ステップ 3** [仮想マシンのプロパティ (Virtual Machine Properties)] ダイアログボックスで [オプション (Options)] タブを選択します。
- ステップ 4** [設定 (Settings)] カラムの [拡張 (Advanced)] で、[起動オプション (Boot Options)] を選択します。
- ステップ 5** [BIOS の強制設定 (Force BIOS Setup)] で [仮想マシンの次回起動時に BIOS 設定画面に項目を強制設定 (The Next Time the Virtual Machine Boots, Force Entry into the BIOS Setup Screen)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 6** [OK] をクリックし、[仮想マシンのプロパティ (Virtual Machine Properties)] ダイアログボックスを閉じます。
- ステップ 7** 仮想マシンの電源をオンにします。
仮想マシンが BIOS メニューで起動します。
- ステップ 8** [ブート (Boot)] メニューへ移動し、起動デバイスの一覧の 1 番目が CD-ROM デバイス、2 番目がハードドライブ デバイスになるように順序を並べ替えます。
- ステップ 9** 変更内容を保存して BIOS 設定を終了します。

9.x インストールにおける DNS 登録の確認

DNS を使用する場合、次の手順を実行して、追加するすべてのサーバが DNS で適切に登録されていることを確認します。

手順

- ステップ 1 コマンドプロンプトを開きます。
- ステップ 2 各サーバに対して DNS 名で ping を実行するには、「`ping DNS_name`」と入力します。
- ステップ 3 各サーバを IP アドレスで検索するには、「`nslookup IP_address`」と入力します。

9.x インストールに関する情報の収集

表 2-6 を使用して、サーバに関する情報を記録します。この情報は、Connection クラスタ内ではない Connection サーバ、またはクラスタ内にインストールしている各 Connection サーバに関して収集します。すべての情報を入手する必要はありません。システムおよびネットワーク設定に関連する情報のみ収集してください。この表をコピーして、サーバごとに個別の表に入力情報を記録する必要があります。



(注)

フィールドの一部は省略可能であるため、設定に適用されない場合があります。たとえば、インストール時に SMTP ホストの設定を選択しない場合もパラメータは表示されますが、値を入力する必要はありません。



注意

フィールドの一部はインストールが完了してしまうと、ソフトウェアを再インストールしない限り変更できなくなります。そのため、適切な値を入力するように注意してください。

表の一番右の列に、インストール後にフィールドを変更できるかどうかを示しています。また、変更可能な場合は、該当するコマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを記載しています。



注意

Cisco Unity Connection を仮想マシンにインストールする場合、更新されたライセンスを入手するには、表 2-6 の一覧に記載されている値の一部をインストール後に変更する必要があります。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html) の「*Managing Licenses in Cisco Unity Connection 9.x*」の章を参照してください。

サーバの設定データ

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
管理者 ID ユーザ入力欄:	CLI へのセキュア シェル アクセス、Cisco Unified Communications オペレーティング システム Administration へのログイン、およびディザスタ リカバリ システムへのログインに使用する、管理者アカウント ユーザ ID を指定します。	不可。インストール後、エントリは変更できません。 (注) インストール後、管理者アカウントを追加作成することはできますが、元の管理者アカウント ユーザ ID は変更できません。
管理者パスワード ユーザ入力欄:	CLI へのセキュア シェル アクセス、Cisco Unified Communications オペレーティング システム Administration へのログイン、およびディザスタ リカバリ システムへのログインに使用する、管理者アカウントのパスワードを指定します。 パスワードは 6 文字以上の長さになるようにしてください。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set password user admin
アプリケーション ユーザ名 ユーザ入力欄:	アプリケーション ユーザ名は、システムにインストールされているアプリケーション (Cisco Unity Connection Administration や Cisco Unity Connection Serviceability など) のデフォルト ユーザ名として使用します。	可。Cisco Unity Connection Administration を使用して、インストール後にエントリを変更できます。
アプリケーション ユーザ パスワード ユーザ入力欄:	システムにインストールされている Cisco Unity Connection Administration、Cisco Unity Connection Serviceability などのアプリケーションのデフォルト パスワードとして使用します。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > utils cuc reset password
国 ユーザ入力欄:	一覧から、インストールを行う該当する国を選択します。	不可。インストール後、エントリは変更できません。
DHCP ユーザ入力欄:	DHCP を使用してサーバのネットワーク設定を自動設定する場合は、[はい (Yes)] を選択します。 [はい (Yes)] を選択した場合、DNS 設定または静的設定の際にプロンプトが表示されません。 [いいえ (No)] を選択した場合、ホスト名、IP アドレス、IP マスク、ゲートウェイの入力が必要です。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network dhcp

サーバの設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
DNS 有効 ユーザ入力欄:	DNS サーバがホスト名を IP アドレスへ、または IP アドレスをホスト名へ解決しません。DNS サーバを使用しない場合は [いいえ (No)] を入力します。 DNS サーバがある場合は、[はい (Yes)] を入力して DNS を有効にすることを推奨します。 (注) DNS が無効の場合、すべてのネットワーク デバイスについて、(ホスト名ではなく) 必ず IP アドレスを入力する必要があります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network dns
DNS プライマリ ユーザ入力欄:	プライマリ DNS サーバとして指定する DNS サーバの IP アドレスを入力します。IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (ddd.ddd.ddd.ddd) で入力します。 DNS が [はい (Yes)] (DNS が有効) に設定されている場合、このフィールドは必須になります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network dns
DNS セカンダリ (省略可能) ユーザ入力欄:	オプションのセカンダリ DNS サーバとして指定する DNS サーバの IP アドレスを入力します。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network dns
ドメイン ユーザ入力欄:	このマシンが配置されているドメインの名前を表します。 DNS を [はい (Yes)] に設定した場合、このフィールドは必須です。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network domain
ゲートウェイ アドレス ユーザ入力欄:	ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスを入力します。 ゲートウェイがない場合も、このフィールドを 255.255.255.255 に設定する必要があります。ゲートウェイがない場合は、通信対象がサブネット上のデバイスに限られます。 DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network gateway

サーバの設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
ホスト名 ユーザ入力欄:	<p>サーバに対する一意のホスト名を入力します。</p> <p>ホスト名は最大 64 文字で、英数字とハイフンを使用できます。ただし、最初の文字をハイフンにすることはできません。</p> <p>DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、エントリを変更できます。</p> <p>詳細については、次の場所にある『<i>Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection</i>』の「Renaming Cisco Unity Connection 9.x Servers」の章を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html</p>
IP アドレス ユーザ入力欄:	<p>サーバの IP アドレスを入力します。</p> <p>DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、エントリを変更できます。</p> <p>詳細については、次の場所にある『<i>Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection</i>』の「Changing the IP Addresses of Cisco Unity Connection 9.x Servers」の章を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html</p>
IP マスク ユーザ入力欄:	<p>このマシンの IP サブネット マスクを入力します。</p> <p>DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>CLI > set network ip eth0</pre>
場所 ユーザ入力欄:	<p>サーバの場所を入力します。</p> <p>この情報を使用して、証明書署名要求 (CSR) が生成されます。CSR は、サードパーティの証明書を取得するために使用されます。</p> <p>組織内の識別できる任意の場所を入力できます。たとえば、サーバが設置されている都道府県や市区町村などを入力します。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>CLI > set web-security</pre>
MTU サイズ ユーザ入力欄:	<p>MTU (Maximum Transmission Unit) は、このホストがネットワークで転送する最大パケットをバイト単位で表します。</p> <p>使用するネットワークの MTU サイズをバイト単位で入力します。</p> <p>設定する MTU サイズは、ネットワーク内のいずれかのリンクに設定されている最小の MTU サイズを超えないようにしてください。</p> <p>デフォルト値は 1500 バイトです。</p> <p>MTU 設定は、クラスタ内の両方のサーバで同じにする必要があります。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>CLI > set network mtu</pre>

サーバの設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
NIC 二重化 ユーザ入力欄:	ネットワーク インターフェイス カード (NIC) のデュプレックス モードを全二重または半二重のいずれかに選択します。 (注) このパラメータは、自動ネゴシエーションを使用しないことを選択している場合のみ表示されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network nic
NIC 速度 ユーザ入力欄:	NIC の速度を 10 メガビット/秒または 100 メガビット/秒のいずれかに選択します。 (注) このパラメータは、自動ネゴシエーションを使用しないことを選択している場合のみ表示されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set network nic
NTP サーバ ユーザ入力欄:	同期する 1 台または複数のネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。 最大 5 台の NTP サーバを入力できます。 (注) 発生する可能性のある互換性の問題、精度の問題、およびネットワーク ジッターの問題を回避するには、プライマリ ノードに指定する外部 NTP サーバが NTP v4 (バージョン 4) である必要があります。IPv6 アドレッシングを使用している場合は、外部 NTP サーバが NTP v4 でなければなりません。	可。Cisco Unified Communications オペレーティングシステム を使用して、インストール後にエントリを変更できます。 [設定 (Settings)] > [NTP サーバ (NTP Servers)]
組織 ユーザ入力欄:	組織の名前を入力します。 ヒント このフィールドを使用して、複数の組織ユニットを入力できます。複数の組織ユニット名を入力するには、エントリをカンマで区切ります。カンマを含むエントリは、エントリ内のカンマの前に円記号を入力します。 (注) 入力値は、証明書署名要求 (CSR) を生成する際に使用されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set web-security

9.x インストールに関する情報の収集

サーバの設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
セキュリティ パスワード ユーザ入力欄:	クラスタ内のサーバは、相互に通信する際にセキュリティ パスワードを使用します。 このパスワードは、6 文字以上の英数字にする必要があります。ハイフンおよび下線を使用できますが、先頭は英数字にする必要があります。 (注) このパスワードを保存してください。Connection クラスタの場合、パブリッシュ サーバとサブスクライバ サーバの両方において、同じセキュリティ パスワードを入力する必要があります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set password user security  注意 Connection クラスタが設定されている場合は、パブリッシュ サーバとサブスクライバ サーバの間の通信が失われるのを避けるため、両方のサーバでセキュリティ パスワードを変更し、両方のサーバを再起動する必要があります。詳細については、『 <i>Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions</i> 』にあるこのコマンドの説明を参照してください。
SMTP の場所 ユーザ入力欄:	電子メールの発信に使用する SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。 ホスト名には英数字、ハイフン、ピリオドを使用できますが、先頭は英数字にする必要があります。 (注) 電子通知を使用する場合、このフィールドは必須です。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set smtp
都道府県 ユーザ入力欄:	サーバが配置されている場所を入力します。 (注) 入力値は、証明書署名要求 (CSR) を生成する際に使用されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set web-security
タイムゾーン ユーザ入力欄:	ローカル タイム ゾーンおよびグリニッジ標準時 (GMT) との時差を指定します。 マシンの場所に最も近いタイム ゾーンを選択します。  注意 クラスタでは、サブスクライバ サーバはパブリッシュ サーバと同じタイムゾーンを使用する必要があります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > set timezone

サーバの設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
ユニット	ユニットを入力します。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。
ユーザ入力欄:	(注) 入力値は、証明書署名要求 (CSR) を生成する際に使用されます。	CLI > set web-security

Cisco Unified Communications Answer File Generator の使用

Cisco Unified Communications Answer File Generator は、Cisco Unity Connection 無人インストール用応答ファイルを作成する Web アプリケーションです。個別の応答ファイルが USB キーまたはフロッピーディスクのルート ディレクトリにコピーされ、Cisco Unity Connection DVD と共にインストール処理中に使用されます。

この Web アプリケーションでは、次の機能がサポートされています。

- パブリッシャ サーバおよびすべてのサブスクリバ サーバの無人インストール用応答ファイルを同時に生成し、保存できます。
- データ エントリの構文的な検証
- オンライン ヘルプおよびマニュアルの表示

使用に関して、以下の要件が適用されます。

- この Web アプリケーションがサポートするのは新規インストールのみです。アップグレードはサポートしていません。
- パブリッシャ サーバで DHCP クライアントを使用している場合にサブスクリバ サーバの応答ファイルも生成する場合は、パブリッシャ サーバの IP アドレスを指定する必要があります。

Cisco Unified Communications Answer File Generator は、次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/web/cuc_afg/index.html

Cisco Unified Communications Answer File Generator は、Internet Explorer 6.0 以降、および Mozilla 1.5 以降をサポートしています。



(注)

Linux 2.4 対応の USB キーを使用してください。Linux 2.4 の設定ファイル互換用にあらかじめフォーマットされている USB キーの使用を推奨します。これらのキーのフォーマットは W95 FAT32 です。

9.x インストール中のネットワーク エラーの処理

インストール処理中、入力されたネットワーク設定を使ってサーバがネットワークに正常に接続できるかどうか、インストールプログラムによって検証されます。接続できない場合はメッセージが表示され、次のいずれかのオプションを選択するよう求められます。

- [再試行 (RETRY)]: インストールプログラムによって、ネットワークの検証が再試行されます。再び検証が失敗した場合は、もう一度エラー ダイアログボックスが表示されます。

- [確認 (インストールのチェック) (REVIEW (Check Install))] : このオプションでは、ネットワーク設定を確認して変更できます。検出されると、インストール プログラムはネットワーク設定ウィンドウに戻ります。

ネットワーク ウィンドウの入力を完了するたびにネットワークが検証されるため、メッセージが何度も表示される場合があります。

- [停止 (HALT)] : インストールを停止します。ネットワーク設定のトラブルシューティングを行うため、インストール ログ ファイルを USB ディスクへコピーできます。



(注) 仮想マシンにインストールされている Cisco Unity Connection では、USB ドライブはサポートされません。

- [無視 (IGNORE)] : インストールを続行します。ネットワーク エラーは、ログに記録されます。場合によっては、インストール プログラムによるネットワークの検証が複数回行われ、このエラー ダイアログボックスが複数回表示されることがあります。ネットワーク エラーを無視することを選択すると、インストールが失敗する場合があります。

オペレーティング システムおよび 9.x アプリケーションの新規インストール

この項では、オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection アプリケーションのインストール方法を説明します。オペレーティング システムおよびアプリケーションのインストールは、インストール プログラムを実行して行います。

- 「インストール ウィザードの操作」 (P.2-22)
- 「インストールの開始」 (P.2-23)
- 「事前準備した設定情報の入力」 (P.2-25)
- 「パッチの適用」 (P.2-26)
- 「基本インストールの実行」 (P.2-29)
- 「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」 (P.2-31)
- 「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクライバ サーバの設定」 (P.2-32)

インストール ウィザードの操作

インストール ウィザードの操作方法の説明については、表 2-7 を参照してください。

表 2-7 インストール ウィザードの操作

操作内容	使用するキー
次のフィールドへ移動する	Tab
前のフィールドへ移動する	Alt+Tab
オプションを選択する	Space バーまたは Enter
一覧を上下へスクロールする	↑または←

表 2-7 インストール ウィザードの操作 (続き)

操作内容	使用するキー
前のウィンドウへ移動する	Space バーまたは Enter を押し、[戻る (Back)] を選択 (使用可能な場合)
ウィンドウに関するヘルプ情報を参照する	Space バーまたは Enter を押し、[ヘルプ (Help)] を選択 (使用可能な場合)

インストールの開始

インストールを開始するには、次の手順に従います。



(注) Cisco Unity Connection ソフトウェアがプレインストールされている新しいサーバの場合は、新しい製品リリースによりサーバを再イメージ化する場合を除き、**Connection** を再インストールする必要はありません。直接、「事前準備した設定情報の入力」(P.2-25) の手順に進んでください。

手順

- ステップ 1** Answer File Generator で生成した設定情報が入った USB キーがある場合は、この時点で挿入します。
- ステップ 2** インストール DVD をトレイにセットし、DVD から起動するようにサーバを再起動します。サーバの起動処理が完了すると、[DVD が見つかりました (DVD Found)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** メディア チェックを実行する場合は、[はい (Yes)] を選択します。メディア チェックをスキップする場合は、[いいえ (No)] を選択します。
- メディア チェックでは、DVD の完全性がチェックされます。以前にメディア チェックをパスした DVD の場合は、メディア チェックのスキップを選択できます。
- ステップ 4** [はい (Yes)] を選択してメディア チェックを実行すると、[メディア チェック結果 (Media Check Result)] ウィンドウが表示されます。次のタスクを実行します。
- [メディア チェック結果 (Media Check Result)] で [合格 (Pass)] と表示された場合は、[OK] を選択してインストールを続行します。
 - メディアがメディア チェックに失敗した場合は、別のコピーを Cisco.com からダウンロードするか、別の DVD を直接シスコから入手します。
- ステップ 5** システムが正しく設定されていることを確認するため、システム インストーラにより以下のハードウェア チェックが実行されます。インストーラによってハードウェア設定が変更される場合は、システムを再起動するよう求められます。再起動の間も DVD はドライブに入れたままにしておいてください。
- インストール処理では、最初にドライバが正しいかどうかの確認が行われ、次のような警告が表示される場合があります。

No hard drives have been found. You probably need to manually choose device drivers for install to succeed. Would you like to select drivers now?

 インストールを続けるには、[はい (Yes)] を選択します。
 - 次に、サポートされているハードウェア プラットフォームがあるかどうかの確認が行われます。サーバがハードウェア要件を完全には満たしていない場合、インストール プロセスは致命的なエラーで失敗します。エラー内容が正しくないとと思われる場合は記録して、シスコのサポートへ報告してください。
 - 次に、RAID 設定および BIOS 設定が検証されます。



(注) この手順が繰り返された場合は、もう一度 [はい (Yes)] を選択してください。

- インストール プログラムで BIOS アップデートのインストールが必要になると、システムのリブートが必要なことを示す通知が表示されます。任意のキーを押して、インストールを続行します。

ハードウェア チェックが完了すると、[製品展開の選択 (Product Deployment Selection)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 [製品展開の選択 (Product Deployment Selection)] ウィンドウでは、インストールする製品を選択して [OK] を選択します。次のオプションの中から選択できます。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Unity Connection
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition (Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection を含む)
- Cisco Enterprise License Manager



(注) このウィンドウでは、使用するハードウェアでサポートされる製品のみが示されます。サポートされる製品が 1 つしか存在しなければ、インストールする製品の選択は行いません。



(注) サーバでサポートされない製品が 1 つまたは複数ある場合は、その情報も表示されます。サーバで Cisco Unity Connection がサポートされない製品として表示される場合は、サーバが Connection 9.x の仕様を満たしているか確認してください。『Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcu_cspl.html) の「Cisco Unity Connection Supported Servers」の項にある、サーバモデルが該当する表を参照してください。(メモリの増設が必要な場合は、インストールを再開する前に、「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ) (P.2-11)」を参照してください)。

ステップ 7 サーバに現在ソフトウェアがインストールされている場合は、[ハード ドライブの上書き (Overwrite Hard Drive)] ウィンドウが開き、ハード ドライブに現在あるソフトウェアのバージョンと、DVD にあるバージョンが表示されます。インストールを続ける場合は [はい (Yes)]、中止する場合は [いいえ (No)] を選択します。

**注意**

[ハード ドライブの上書き (Overwrite Hard Drive)] ウィンドウで [はい (Yes)] を選択すると、ハード ドライブにある既存のデータはすべて上書きされて消去されます。

[プラットフォーム インストレーション ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 次の手順に従って、該当するオプションを選択します。

- Cisco Unity Connection ソフトウェアがすでにサーバにインストールされている場合は [スキップ (Skip)] をクリックし、「事前準備した設定情報の入力」(P.2-25) に進みます。
- 標準のインストールを実行する場合は [続行 (Proceed)] をクリックし、この手順を続けます。

- 無人インストールを実行する場合は [スキップ (Skip)] をクリックし、「事前準備した設定情報の入力」(P.2-25) に進みます。無人インストールでは、事前準備した設定情報を USB キーまたはフロッピーディスク上に用意します。
- ソフトウェアをすぐインストールし、設定を後で行う場合は、[スキップ (Skip)] をクリックして「事前準備した設定情報の入力」(P.2-25) に進みます。このインストール方法は他の方法よりも時間がかかることがあります。

ステップ 9 次の手順に従って、実行するインストールの種類を選択します。

[追加リリースの適用 (Apply Additional Release)] ウィンドウで、次の中からオプションを選択します。

- インストール中に、ソフトウェアの新しいサービス リリースへのアップグレードを行うには [はい (Yes)] を選択し、「パッチの適用」(P.2-26) に進みます。
- この手順をスキップするには、[いいえ (No)] を選択します。
- 前のウィンドウに戻るには、[戻る (Back)] を選択します。

ステップ 10 [基本インストール (Basic Install)] ウィンドウで [続行 (Continue)] を選択し、DVD にあるソフトウェア バージョンのインストールまたはプレインストール ソフトウェアの設定を行って、「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

事前準備した設定情報の入力

サーバに製品がプレインストールされている場合、または [プラットフォーム インストール ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウにおいて [スキップ (Skip)] を選択した場合は、この手順から開始してください。

手順

ステップ 1 システムの再起動後、[事前準備したインストール設定 (Preexisting Installation Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Answer File Generator で事前準備した設定情報を作成し、フロッピーディスクまたは USB キーに保存した場合は、フロッピーディスクまたは USB キーをこの時点で挿入し、[続行 (Continue)] を選択します。インストール ウィザードによって、この設定情報がインストール処理中に読み込まれます。



(注) システムで新しいハードウェアが検出されたことを示すポップアップ ウィンドウが表示された場合は、何かキーを押し、その次のウィンドウで [インストール (Install)] を選択してください。

[プラットフォーム インストール ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [プラットフォーム インストール ウィザード (Platform Installation Wizard)] を続行するには、[続行 (Proceed)] を選択します。

ステップ 4 次の手順に従って、実行するインストールの種類を選択します。

[追加リリースの適用 (Apply Additional Release)] ウィンドウで、次の中からオプションを選択します。

- インストール中に、ソフトウェアの新しいサービス リリースへのアップグレードを行うには [はい (Yes)] を選択し、「パッチの適用」(P.2-26) に進みます。
- この手順をスキップするには、[いいえ (No)] を選択します。
- 前のウィンドウに戻るには、[戻る (Back)] を選択します。

ステップ 5 [基本インストール (Basic Install)] ウィンドウで [続行 (Continue)] を選択します。「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

パッチの適用

[パッチの適用 (Apply a Patch)] ウィンドウで [はい (Yes)] を選択した場合、インストレーション ウィザードではまず DVD にあるソフトウェア バージョンがインストールされ、次にシステムが再起動されます。インストール中にアップグレードを行うには、適切なアップグレード ファイルを Cisco.com から事前に入手しておく必要があります。



(注)

サポートされる新しいリリースへのアップグレードは、ES や SR ではないフルパッチがある場合にのみ実行できます。ES または SR の場合は、同じメンテナンス リリース内の新しいサービス リリースへのアップグレードのみが可能です。

インストール処理中、ローカル ディスク (DVD) か、リモートの FTP または SFTP サーバのいずれかのアップグレード ファイルにアクセスできます。

手順

ステップ 1 [インストール アップグレード取得メカニズムの設定 (Install Upgrade Retrieval Mechanism Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 アップグレード ファイルの取得に使用する、アップグレード取得メカニズムを次の中から選択します。

- [SFTP] : Secure File Transfer Protocol (SFTP) を使用して、リモート サーバからアップグレード ファイルを取得します。「リモート サーバからのアップグレード」(P.2-27) に進みます。
- [FTP] : ファイル転送プロトコル (FTP) を使用して、リモート サーバからアップグレード ファイルを取得します。「リモート サーバからのアップグレード」(P.2-27) に進みます。
- [ローカル (LOCAL)] : ローカル DVD からアップグレード ファイルを取得します。「ローカル ディスクからのアップグレード」(P.2-26) に進みます。

ローカル ディスクからのアップグレード

ローカル ディスクからのアップグレードを行うには、Cisco.com からダウンロードした適切なパッチ ファイルを使用して、事前にアップグレード DVD を作成しておく必要があります。アップグレード ファイルの ISO イメージを DVD 上に作成してください。ISO ファイルを DVD にコピーするだけではうまく行きません。

手順

- ステップ 1** [ローカル パッチの設定 (Local Patch Configuration)] ウィンドウが表示されたら、必要に応じてパッチのディレクトリと名前を入力し、[OK] を選択します。
- [インストール アップグレード パッチ選択の確認 (Install Upgrade Patch Selection Validation)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** DVD 上にあるパッチ ファイルがウィンドウに表示されます。このパッチを使用してシステムをアップデートするには、[続行 (Continue)] を選択します。
- ステップ 3** インストールするアップグレード パッチを選択します。システムによってパッチのインストールが行われ、アップグレードされたソフトウェア バージョンを実行中の状態でシステムが再起動されます。
- システムの再起動後、[事前準備した設定情報 (Preexisting Configuration Information)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** インストールを続けるには、[続行 (Proceed)] を選択します。
- [プラットフォーム インストレーション ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** インストールを続ける場合は [続行 (Proceed)]、中止する場合は [キャンセル (Cancel)] を選択します。
- [続行 (Proceed)] を選択した場合は [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されます。ステップ 6 に進みます。
- [キャンセル (Cancel)] を選択するとシステムは停止し、安全にサーバの電源を切ることができます。
- ステップ 6** [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されたら、[いいえ (No)] を選択します。
- ステップ 7** [Windows のアップグレード (Windows Upgrade)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 8** [いいえ (No)] を選択して、「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

リモート サーバからのアップグレード

リモート サーバからのアップグレードを行う前に、Cisco.com から適切なパッチ ファイルを、サーバがアクセスできる FTP または SFTP サーバへダウンロードしておく必要があります。

任意の SFTP サーバ製品を使用できますが、Cisco Technology Developer Partner Program (CTDP) を介してシスコが認定する SFTP 製品を使用することをシスコでは推奨します。GlobalSCAPE など、CTDP パートナーが Cisco Unified Communications Manager の指定されたバージョンで SFTP 製品を認定します。ご使用のバージョンの Cisco Unified Communications Manager に対して製品の動作を保証しているベンダーについては、<http://www.cisco.com/cgi-bin/ctdp/Search.pl> を参照してください。GlobalSCAPE の使用方法とサポートされる Cisco Unified Communications のバージョンについては、<http://www.globalscape.com/gsfps/cisco.aspx> を参照してください。シスコでは、社内テスト用に次のサーバを使用しています。いずれかのサーバを使用できますが、サポートについては各ベンダーにお問い合わせください。

- Open SSH (UNIX システム用。 <http://sshwindows.sourceforge.net/> を参照)
- Cygwin (<http://www.cygwin.com/>)
- Titan (<http://www.titanftp.com/>)



(注) CTDP プロセスでまだ認定されていないサードパーティ製品で問題が発生した場合、サポートについてはそのサードパーティ ベンダーにお問い合わせください。

リモート サーバへの FTP または SFTP 接続によるアップグレードを選択した場合は、サーバがネットワークに接続できるよう、最初にネットワーク設定を設定する必要があります。

手順

ステップ 1 [自動ネゴシエーション設定 (Auto Negotiation Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 インストール処理では、自動ネゴシエーションを使って、イーサネットのネットワーク インターフェイス カード (NIC) の速度と二重化設定を自動的に設定できます。この設定はインストール後に変更できます。



(注) このオプションを使用するには、ハブまたはイーサネット スイッチが自動ネゴシエーションをサポートしている必要があります。

- 自動ネゴシエーションを有効にするには、[はい (Yes)] を選択します。
[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。ステップ 4 に進みます。
- 自動ネゴシエーションを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。[NIC の速度および二重化の設定 (NIC Speed and Duplex Configuration)] ウィンドウが表示されます。ステップ 3 に進みます。

ステップ 3 自動ネゴシエーションを無効に選択した場合は、ここで適切な NIC の速度と二重化の設定を手動で選択し、[OK] を選択して続行します。

[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウでは、MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更できます。

MTU (Maximum Transmission Unit) は、このホストがネットワークで転送する最大パケットをバイト単位で表します。ネットワークの MTU 設定が不明な場合は、デフォルト値を使用します。



注意

MTU サイズを正しく設定しなかった場合、ネットワークのパフォーマンスに影響する場合があります。

- デフォルト値 (1500 バイト) を使用する場合は、[いいえ (No)] を選択します。
- MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更する場合は [はい (Yes)] を選択し、新しい MTU サイズを入力して [OK] を選択します。

[DHCP 設定 (DHCP Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 ネットワーク設定では、サーバとゲートウェイに静的なネットワーク IP アドレスを設定するか、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用するかを選択できます。スタティック IP アドレスの使用が推奨されます。DHCP を使用する場合は、スタティック DHCP を使用してください。

- ネットワーク内に設定されている DHCP サーバがない場合に DHCP を使用するときは、[はい (Yes)] を選択します。インストール処理により、ネットワーク接続の確認が行われます。ステップ 8 にスキップします。
- サーバに静的 IP アドレスを設定する場合は、[いいえ (No)] を選択します。静的ネットワーク設定のウィンドウが表示されます。

ステップ 6 DHCP を使用しないことを選択している場合は、静的ネットワーク設定の値を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、表 2-6 を参照してください。

[DNS クライアント設定 (DNS Client Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 7** DNS を有効にするには [はい (Yes)] を選択し、DNS クライアントの情報を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、表 2-6 を参照してください。
- システムによりネットワークの設定と接続の確認が行われた後、[リモートパッチ設定 (Remote Patch Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 8** リモート ファイル サーバの場所とログイン情報を入力します。システムによりリモート サーバへ接続され、使用可能なアップグレード パッチの一覧が取得されます。
- アップグレード ファイルが Linux サーバまたは UNIX サーバ上にある場合は、ディレクトリ パスの先頭にスラッシュを入力する必要があります。たとえば、アップグレード ファイルが patches ディレクトリに存在する場合は、/patches と入力する必要があります。
- アップグレード ファイルが Windows サーバ上に配置されている場合は、FTP サーバまたは SFTP サーバに接続することになるため、次のような適切な構文を使用するように注意してください。
- パスの先頭はフォワード スラッシュ (/) で始め、パス全体でフォワード スラッシュを使用します。
 - パスは、サーバの FTP または SFTP ルート ディレクトリで始まる必要があります。C: などのドライブ レターで始まる Windows 絶対パスは入力できません。
- [インストール アップグレード パッチ選択 (Install Upgrade Patch Selection)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 9** インストールするアップグレード パッチを選択します。システムによってパッチのダウンロード、展開、インストールが行われ、アップグレードされたソフトウェア バージョンを実行中の状態でシステムが再起動されます。
- システムの再起動後、[事前準備した設定情報 (Preexisting Configuration Information)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 10** インストールを続けるには、[続行 (Proceed)] を選択します。
- [プラットフォーム インストール ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 11** インストールを続ける場合は [続行 (Proceed)]、中止する場合は [キャンセル (Cancel)] を選択します。
- [続行 (Proceed)] を選択した場合は [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されます。ステップ 12 に進みます。
- [キャンセル (Cancel)] を選択するとシステムは停止し、安全にサーバの電源を切ることができます。
- ステップ 12** [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されたら、[いいえ (No)] を選択します。
- ステップ 13** [Windows のアップグレード (Windows Upgrade)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 14** [いいえ (No)] を選択して、「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

基本インストールの実行

手順

- ステップ 1** [タイムゾーン設定 (Timezone Configuration)] が表示されたら、サーバの適切なタイムゾーンを選択して、[OK] を選択します。

**注意**

クラスタでは、サブスクリバ サーバはパブリッシャ サーバと同じタイムゾーンを使用するよう設定する必要があります。

[自動ネゴシエーション設定 (Auto Negotiation Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2

インストール処理では、自動ネゴシエーションを使って、イーサネットのネットワーク インターフェイス カード (NIC) の速度と二重化設定を自動的に設定できます。この設定はインストール後に変更できます。

- 自動ネゴシエーションを有効にするには、[はい (Yes)] を選択して**ステップ 5**に進みます。

[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**(注)**

このオプションを使用するには、ハブまたはイーサネット スイッチが自動ネゴシエーションをサポートしている必要があります。

- 自動ネゴシエーションを無効にするには、[いいえ (No)] を選択して**ステップ 3**に進みます。

[NIC の速度および二重化の設定 (NIC Speed and Duplex Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3

自動ネゴシエーションを無効に選択した場合は、ここで適切な NIC の速度と二重化の設定を手動で選択し、[OK] を選択して続行します。

[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4

[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウでは、MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更できます。

MTU (Maximum Transmission Unit) は、このホストがネットワークで転送する最大パケットをバイト単位で表します。ネットワークの MTU 設定が不明の場合は、デフォルト値 (1500 バイト) を使用してください。

**注意**

MTU サイズを正しく設定しなかった場合、ネットワークのパフォーマンスに影響する場合があります。

- デフォルト値 (1500 バイト) を使用する場合は、[いいえ (No)] を選択します。
- MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更する場合は [はい (Yes)] を選択し、新しい MTU サイズを入力して [OK] を選択します。

[DHCP 設定 (DHCP Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5

ネットワーク設定では、サーバに静的なネットワーク IP アドレスを設定するか、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用するかを選択できます。スタティック IP アドレスの使用が推奨されます。DHCP を使用する場合は、スタティック DHCP を使用してください。

- ネットワーク内に設定されている DHCP サーバがない場合に DHCP を使用するときは、[はい (Yes)] を選択します。ネットワークが再開され、[管理者ログイン設定 (Administrator Login Configuration)] ウィンドウが表示されます。**ステップ 8**にスキップします。
- サーバに静的 IP アドレスを設定する場合は、[いいえ (No)] を選択します。静的ネットワーク設定のウィンドウが表示されます。

ステップ 6

DHCP を使用しないことを選択している場合は、静的ネットワーク設定の値を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、表 2-6 を参照してください。

[DNS クライアント設定 (DNS Client Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 DNS を有効にするには [はい (Yes)] を選択し、DNS クライアントの情報を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、表 2-6 を参照してください。

ネットワークが新しい設定情報を使用して再開され、[管理者ログイン設定 (Administrator Login Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 表 2-6 の管理者ログインおよびパスワードを入力します。



(注) 管理者ログインは、先頭がアルファベットで 6 文字以上必要です。英数字、ハイフン、およびアンダースコアを使用できます。Cisco Unified Communications Operating System Administration、コマンドライン インターフェイス、およびディザスタ リカバリ システムにログインするには、管理者ログインが必要です。

[認証情報 (Certificate Information)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 証明書署名要求を入力して、[OK] を選択します。

最初のノードの設定ウィンドウが表示されます。

ステップ 10 Connection クラスタ内の最初のサーバ (パブリッシャ サーバ)、クラスタ内の 2 番目のサーバ (サブスクリバ サーバ)、または Connection クラスタなしのサーバとして、このサーバを設定できます。

- パブリッシャ サーバまたは Connection クラスタなしのサーバとしてこのサーバを設定するには、[はい (Yes)] を選択して「[Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定](#)」(P.2-31) に進みます。
- サブスクリバ サーバとしてこのサーバを設定するには、[いいえ (No)] を選択して「[Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定](#)」(P.2-32) に進みます。

Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定

基本インストールを終了後、次の手順に従って、Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバまたは Connection クラスタなしのサーバとして、サーバを設定できます。

手順

ステップ 1 [ネットワーク タイム プロトコル クライアント設定 (Network Time Protocol Client Configuration)] ウィンドウが表示されます。

パブリッシャ サーバのシステム時刻を正確に保つため、外部 NTP サーバの使用を推奨します。外部 NTP サーバは Stratum 9 以上 (つまり Stratum 1 ~ 9) であるようにします。サブスクリバ サーバの時刻はパブリッシャ サーバから取得されます。



(注) Cisco Unity Connection を仮想マシンにインストールしている場合は、外部 NTP サーバを指定する必要があります。

ステップ 2 外部 NTP サーバを設定するか、システム時刻を手動で設定するかを選択します。

- 外部 NTP サーバを設定するには [はい (Yes)] を選択し、1 つ以上の NTP サーバの IP アドレス、NTP サーバ名、または NTP サーバ プール名を入力します。NTP サーバは最大 5 つ設定でき、3 つ以上使用することを推奨します。[続行 (Proceed)] を選択してインストールを続けます。

システムは NTP サーバに接続して、自動的にハードウェア クロックの時刻を設定します。



(注) [テスト (Test)] ボタンが表示された場合、[テスト (Test)] を選択して NTP サーバへのアクセスが可能か確認できます。

- システム時刻を手動で設定するには [いいえ (No)] を選択し、適切な日時を入力してハードウェア クロックを設定します。[OK] を選択してインストールを続けます。

[データベース アクセス セキュリティ設定 (Database Access Security Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 表 2-6 のセキュリティ パスワードを入力します。



(注) セキュリティ パスワードは英数字で始まり、6 文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。このパスワードは、システムによりパブリッシャ サーバとサブスクライバ サーバ間の通信の認証に使用され、2 つのサーバで同一にする必要があります。

[SMTP ホスト設定 (SMTP Host Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 SMTP サーバを設定する場合、[はい (Yes)] を選択して SMTP サーバ名を入力します。



(注) 一部のプラットフォーム機能を使用するには SMTP サーバの設定が必要です。ただし、SMTP サーバの設定は、プラットフォームの GUI またはコマンドライン インターフェイスを使用して後で行うこともできます。

ステップ 5 [OK] を選択します。[アプリケーション ユーザ設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 表 2-6 のアプリケーション ユーザ名とパスワードを入力し、パスワードをもう一度入力して確認します。

ステップ 7 [OK] を選択します。[プラットフォーム設定確認 (Platform Configuration Confirmation)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 インストールを続行するには、[OK] を選択します。または、プラットフォーム設定を変更するには、[戻る (Back)] を選択します。

システムによって、ソフトウェアのインストールと設定が行われます。DVD ドライブがイジェクトされ、サーバが再起動します。DVD は再挿入しないでください。

ステップ 9 インストール処理が完了すると、管理者アカウントとパスワードを使用してログインするよう求められます。

ステップ 10 「バージョン 9.x のインストール後のタスク」(P.2-34) に一覧されているインストール後のタスクを実行します。

Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクライバ サーバの設定

クラスタ内のサブスクライバ サーバを設定するには、次の手順に従います。

**注意**

サブスクリバ サーバをインストールする前に、Cisco Unity Connection Administration を使用して、パブリッシャ サーバでサブスクリバ サーバを設定する必要があります。『Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/cluster_administration/guide/9xcuccagx.html) の「Configuring a Cisco Unity Connection 9.x Cluster」の章を参照してください。

手順

ステップ 1 パブリッシャ サーバでネットワーク タイム プロトコルを設定した場合は、サブスクリバ サーバをインストールする前に、NTP サーバと同期されていることを確認します。パブリッシャ サーバのコマンドライン インターフェイスから、「**utils ntp status**」と入力します。サーバが NTP サーバと同期されていることが出力に示されていることを確認します。



(注) パブリッシャ サーバが NTP サーバと同期されていない場合、サブスクリバ サーバのインストールは失敗します。



(注) Cisco Unity Connection を仮想マシンにインストールしている場合は、外部 NTP サーバを指定する必要があります。

ステップ 2 [最初のノードの設定 (First Node Configuration)] ウィンドウで警告を確認し、パブリッシャ サーバを正しく設定したことを確認します。サブスクリバ サーバのインストールを続行するには、[OK] をクリックします。

[ネットワーク接続テスト設定 (Network Connectivity Test Configuration)] ウィンドウが表示されません。

ステップ 3 サブスクリバ サーバのインストール中、システムによって、サブスクリバ サーバがパブリッシャ サーバに確実に接続できるようにするためのチェックが行われます。

- システムによるネットワーク接続の検証が正常に行われた後、インストールを一時停止するには、[はい (Yes)] を選択します。
- 一時停止したインストールを続行するには、[いいえ (No)] を選択します。

[最初のノードのアクセス設定 (First Node Access Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 パブリッシャ サーバの接続情報を入力して [OK] を選択します。

システムにより、ネットワーク接続の確認が行われます。

システムによるネットワーク接続の検証が正常に行われた後、システムの一時停止を選択すると、[最初のノードへの接続に成功しました (Successful Connection to First Node)] ウィンドウが表示されません。[続行 (Continue)] を選択します。



(注) ネットワーク接続テストが失敗するとシステムは必ず停止し、元に戻ってパラメータ情報を再入力できます。

[SMTP ホスト設定 (SMTP Host Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 SMTP サーバを設定する場合、[はい (Yes)] を選択して SMTP サーバ名を入力します。



(注) 一部のオペレーティング システム機能を使用するには SMTP サーバの設定が必要です。ただし、SMTP サーバの設定は、オペレーティング システムの GUI またはコマンドライン インターフェイスを使用して後で行うこともできます。

[プラットフォーム設定確認 (Platform Configuration Confirmation)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 6** ソフトウェアのインストールを開始するには、[OK] を選択します。または、設定を変更するには、[戻る (Back)] を選択します。
- ステップ 7** インストール処理が完了すると、管理者アカウントとパスワードを使用してログインするよう求められます。
- ステップ 8** 「バージョン 9.x のインストール後のタスク」(P.2-34) に一覧されているインストール後のタスクを実行します。

バージョン 9.x のインストール後のタスク

サーバに Cisco Unity Connection をインストールしたら、使用を開始する前に、インストール後の作業をいくつか実行する必要があります。タスクの一覧は、表 2-8 を参照してください。



(注) Web アプリケーションへアクセスするには、Cisco Unity Connection サーバにネットワーク アクセスできるコンピュータから、Web ブラウザを使用する必要があります。

表 2-8 インストール後のタスク

インストール後のタスク	特記事項
Cisco Unity Connection アプリケーション ユーザとしてログインし、アプリケーション ユーザ パスワードを変更します。	「デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更」(P.2-35) を参照してください。
Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool のインストール	Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool を使用して、システムの状態の監視や、ログの表示と収集を行うことができます。 Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool のインストール手順と詳細については、『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』を参照してください。
実行する Cisco Unity Connection の機能サービスをアクティブ化します。 機能サービスのアクティブ化の前に、必要なアクティブ化前のタスクを実行する必要があります。サービス アクティベーションの要件については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。	『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。

表 2-8 インストール後のタスク (続き)

インストール後のタスク	特記事項
バックアップを設定します。 Cisco Unity Connection のデータは、毎日バックアップするようにしてください。	『 <i>Disaster Recovery System Administration Guide</i> 』を参照してください。
該当する場合は、サイトで使用しているネットワーク管理システムを設定します。	『 <i>Cisco Unified Serviceability Administration Guide</i> 』を参照してください。

デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更

インストールではすべてのアプリケーション ユーザ パスワードが、インストール中に入力した同じアプリケーション ユーザ パスワードに設定されます。Cisco Unity Connection Administration にログインしてこれらのパスワードを変更することを推奨します。パスワード変更の手順については、『*Cisco Unity Connection System Administration Guide*』を参照してください。

サービスのアクティブ化

すべてのサービスをサーバにインストールした場合でも、Cisco Unified Serviceability を使用して、実行するサービスを手動でアクティブ化する必要があることがあります。サービスに関する推奨事項と詳細については、『*Cisco Unified Serviceability Administration Guide*』を参照してください。

ログ ファイルの監査

インストールにおいて問題が生じた場合、コマンドライン インターフェイスで以下のコマンドを入力し、インストール ログ ファイルを監査できることがあります。

コマンドラインからインストール ログ ファイルの一覧を取得するには、次のように入力します。

```
CLI>file list install *
```

コマンドラインからログ ファイルを表示するには、次のように入力します。

```
CLI>file view install log_file
```

ここで *log_file* は、ログ ファイルの名前です。

ログは Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool を使用して表示することもできます。Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool の使用およびインストールの詳細については、『*Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide*』を参照してください。

システム履歴ログを表示またはダウンロードすることにより、インストール イベントの詳細情報を取得できます。『*Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide*』の「Working with Trace and Log Central」の章を参照してください。

仮想マシンでの Cisco Unity Connection への移行

仮想マシン上の Cisco Unity Connection への移行の詳細については、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html) の「*Migrating from a Cisco Unity Connection Physical Server to a Connection 9.x Virtual Machine*」の章を参照してください。



CHAPTER 3

Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Connection 9.x の言語ファイルのダウンロード」 (P.3-1)
- 「Connection 9.x の言語ファイルのインストール」 (P.3-2)

Connection 9.x の言語ファイルのダウンロード



(注)

この項は、新しい Connection サーバをインストールする際の追加言語のインストールに適用されます。既存の Connection サーバに言語を追加するには、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html) の「Adding or Removing Cisco Unity Connection 9.x Languages」の章を参照してください。手順が異なります。

Connection 9.x 言語ファイルをダウンロードするには

- ステップ 1** 高速インターネット接続のコンピュータで、<http://tools.cisco.com/support/downloads/pub/Redirect.x?mdfid=278875240> の音声とユニファイドコミュニケーションのダウンロード ページにアクセスします。



(注) ソフトウェアのダウンロード ページにアクセスするには、登録ユーザとして Cisco.com にログインする必要があります。

- ステップ 2** [ダウンロード (Downloads)] ページのツリー コントロールで、[ユニファイド コミュニケーション アプリケーション (Unified Communications Applications)] > [ボイスメールとユニファイドメッセージング (Voicemail and Unified Messaging)] > [Cisco Unity Connection] の順に展開し、該当する Connection のバージョンを選択します。
- ステップ 3** [ソフトウェアの種類を選択 (Select a Software Type)] ページで [Cisco Unity Connection ロケール インストーラ (Cisco Unity Connection Locale Installer)] を選択します。
- ステップ 4** [リリースの選択 (Select a Release)] ページで該当する Connection のバージョンを選択します。ページの右側に、言語のダウンロード リンクが表示されます。

- ステップ 5** ご使用のコンピュータに、ダウンロードしたファイルに十分なハードディスク領域があることを確認します（ダウンロードファイルのサイズは、ダウンロードリンクの下に表示されます）。
- 各言語のファイル名は、uc-locale-<2 文字の言語の略称>_<2 文字の国の略称>-<バージョン>.cop.sgn です。（各言語の完全な名前もページに表示されます）。
- ステップ 6** ダウンロードするファイルの名前を選択します。
- ステップ 7** [イメージのダウンロード (Download Image)] ページで、MD5 の値を書き留めます。
- ステップ 8** 画面上のプロンプトに従って、ダウンロードを完了します。
- ステップ 9** インストールする Connection の各言語に対して、**ステップ 6** から**ステップ 8** を繰り返します。
- ステップ 10** ダウンロードした各ファイルに対して、チェックサム ジェネレータを使用して MD5 チェックサムが Cisco.com に記載されているチェックサムと一致していることを確認します。値が一致しない場合、ダウンロードしたファイルは破損しています。



注意 破損したファイルをソフトウェアのインストールに使用しないでください。予測不可能な結果を招きます。MD5 の値が一致しない場合、ダウンロードしたファイルの値が Cisco.com に記載されている値と一致するまでファイルを再度ダウンロードします。

インターネットでは、Microsoft File Checksum Integrity Verifier ユーティリティなど、無料のチェックサム ツールを利用できます。ユーティリティについては、Microsoft サポート技術情報の記事 841290『*Availability and Description of the File Checksum Integrity Verifier Utility*』に記載されています。このサポート技術情報の記事には、ユーティリティをダウンロードできるリンクも記載されています。

- ステップ 11** ダウンロードしたファイルを FTP または SFTP サーバにコピーするか、ファイルを CD または DVD に焼き付けます。ファイルのディスクを焼き付ける場合は、次の考慮事項に注意してください。
- 最大 64 文字のファイル名に対応する Joliet ファイル システムを使用します。
 - 使用しているディスク書き込みアプリケーションに、書き込んだディスクの内容を検証するオプションがある場合は、そのオプションを選択します。これにより、アプリケーションは焼き付けたディスクの内容をソース ファイルと比較します。
 - ディスクに「Cisco Unity Connection <バージョン> Languages」とラベルを付けます。
- ステップ 12** ダウンロードしたファイルを削除し、ディスク領域を使えるようにします。

Connection 9.x の言語ファイルのインストール



(注) この項は、新しい Connection サーバをインストールする際の追加言語のインストールに適用されます。既存の Connection サーバに言語を追加するには、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html) の「Adding or Removing Cisco Unity Connection 9.x Languages」の章を参照してください。手順が異なります。

Cisco Unity Connection の言語（ロケールとしても知られる）は、国別のシステム プロンプト、グラフィカル ユーザ インターフェイス、および音声入力機能を提供します。言語ファイルのインストールは、Connection サーバで CD または DVD を使用するか、リモート ソースからファイルにアクセスするかのいずれかで行えます。該当する項を参照してください。

- 「ディスクからの Connection 9.x の言語ファイルのインストール」 (P.3-3)
- 「ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 9.x の言語ファイルのインストール」 (P.3-4)



(注)

言語はライセンスされていません。また、Connection 9.x でインストールや使用が可能な言語の数に制限はありません。ただし、インストールする言語が増えると、ボイス メッセージを保存するディスク空き容量が減ります。『Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html)』の、各サーバで利用できるストレージの分数に関する情報は、5 つ以下の言語しかインストールしていないことを前提としています。

ディスクからの Connection 9.x の言語ファイルのインストール

ディスクから Connection 9.x の言語ファイルをインストールするには

- ステップ 1** 次のように Connection Conversation Manager サービスと Connection Mixer サービスを停止します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
 - b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
 - c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] の行で [停止 (Stop)] を選択します。
 - d. サービスが停止するまで待ちます。
 - e. また、[重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] の行で [停止 (Stop)] を選択します。
 - f. サービスが停止するまで待ちます。
- ステップ 2** ディスク ドライブに Languages ディスクを挿入します。
- ステップ 3** Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
- ステップ 4** [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューから、[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。[ソフトウェア インストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [ソース (Source)] リストで [DVD/CD] を選択します。
- ステップ 6** [ディレクトリ (Directory)] フィールドに、CD または DVD の言語ファイルを含むフォルダへのパスを入力します。
- 言語ファイルがルート フォルダにある場合、または ISO イメージ DVD を作成した場合は、[ディレクトリ (Directory)] フィールドにスラッシュ (/) を入力します。
- ステップ 7** 言語のインストール プロセスを続行するには、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 8** インストールする言語を選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 9** ダウンロードの経過表示をモニタします。

ステップ 10 別の言語をインストールする場合：[他ソフトウェアのインストール (Install Another)] を選択し、**ステップ 4**～**ステップ 9** を繰り返します。

言語のインストールを終了する場合：次のようにサービスを再起動します。

- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
- b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
- c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] の行で [開始 (Start)] を選択します。
- d. サービスが開始するまで待ちます。
- e. また、[重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] の行で [開始 (Start)] を選択します。
- f. サービスが開始するまで待ちます。
- g. 日本語をインストールした場合：CLI コマンド `utils service restart Cisco Tomcat` を実行して、Tomcat サービスを再起動します。



(注)

多言語の .cop ファイルが、それらの作成目的である正しい CUC ビルドにインストールされていることを確認します。ご使用のバージョンに不適切な .cop ファイルを適用すると、ユーザのカンバセーションが予期しない動作を行うことになります。

ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 9.x の言語ファイルのインストール

この手順では、Cisco Unified Operating System Administration にアクセス中に [更新 (Refresh)] や [再読み込み (Reload)] などの Web ブラウザ ボタンを使用しないでください。代わりに、管理インターフェイスのナビゲーション ボタンを使用してください。

ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバから Connection 9.x の言語ファイルをインストールするには

ステップ 1 次のように Connection Conversation Manager サービスと Connection Mixer サービスを停止します。

- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
- b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
- c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] の行で [停止 (Stop)] を選択します。
- d. サービスが停止するまで待ちます。
- e. また、[重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] の行で [停止 (Stop)] を選択します。
- f. サービスが停止するまで待ちます。

ステップ 2 Cisco Unified Operating System Administration にログインします。

ステップ 3 [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューから、[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。[ソフトウェアのインストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 4** [ソース (Source)] リストで [リモート ファイルシステム (Remote Filesystem)] を選択します。
- ステップ 5** [ディレクトリ (Directory)] フィールドに、リモート システムの言語ファイルを含むフォルダへのパスを入力します。
- 言語ファイルが Linux または Unix サーバにある場合は、フォルダ パスの先頭にスラッシュ (/) を入力します (たとえば、言語ファイルが languages フォルダにある場合は、/languages と入力する必要があります)。
- 言語ファイルが Windows サーバにある場合は、FTP または SFTP サーバに接続していることを確認してください。次の適切な構文を使用します。
- パスの先頭はフォワード スラッシュ (/) で始め、パス全体でフォワード スラッシュを使用します。
 - パスはサーバの FTP または SFTP ルート フォルダで始める必要があります。「C:」などのドライブ レターで始まる Windows 絶対パスは入力できません。
- ステップ 6** [サーバ (Server)] フィールドにサーバ名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 7** [ユーザ名 (Username)] フィールドにリモート サーバのユーザ名を入力します。
- ステップ 8** [ユーザ パスワード (User Password)] フィールドにリモート サーバのパスワードを入力します。
- ステップ 9** [転送プロトコル (Transfer Protocol)] リストで適切なオプションを選択します。
- ステップ 10** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 11** インストールする言語を選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 12** ダウンロードの経過表示をモニタします。
- インストール プロセス中にサーバとの接続が切れたりブラウザを閉じた場合は、[ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューに再度アクセスを試みた際に次のメッセージが表示されることがあります。
- Warning: Another session is installing software, click Assume Control to take over the installation.
- セッションを引き継ぐ場合は、[制御の取得 (Assume Control)] を選択します。
- [制御の取得 (Assume Control)] が表示されない場合は、Real-Time Monitoring Tool でも言語のインストールをモニタできます。
- ステップ 13** 別の言語をインストールする場合: [他ソフトウェアのインストール (Install Another)] を選択し、[ステップ 3](#) ~ [ステップ 12](#) を繰り返します。
- 言語のインストールを終了する場合: 次のようにサービスを再起動します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
 - b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
 - c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] の行で [開始 (Start)] を選択します。
 - d. サービスが開始するまで待ちます。
 - e. また、[重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] の行で [開始 (Start)] を選択します。
 - f. サービスが開始するまで待ちます。
 - g. 日本語をインストールした場合: CLI コマンド `utils service restart Cisco Tomcat` を実行して、Tomcat サービスを再起動します。

**(注)**

多言語の .cop ファイルが、それらの作成目的である正しい CUC ビルドにインストールされていることを確認します。ご使用のバージョンに不適切な .cop ファイルを適用すると、ユーザのカンパセーションが予期しない動作を行うことになります。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>